学校用オルガン

SO-70CU
SO-50C

取扱説明書

この度はスズキ学校用オルガン ***SO-70CU, SO-50C*** をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

SO-70CU, SO-50C はスリムな箱形ボディに簡単操作のオルガン部のほか、音楽 CD の再生、更に USB メモリー * を使用した録音再生ができるメディアプレイヤー部を備え、学校教室でのあらゆる用途にご使用いただけるオルガンです。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。

*｛***SO-70CU***｝のみ搭載。

株式会社　鈴木楽器製作所

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- お読みになった後は、必ず保存して下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
- 本書では、危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

警告	この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
注意	この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。

警告

この機器を分解したり（取扱説明書に記載されている指示を除く）、改造したりしないでください。

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売に相談してください。

次のような場所での使用や保存はしないでください。
- ○ 湿度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など）
- ○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）
- ○ 雨に濡れる場所
- ○ ホコリの多い場所
- ○ 振動の多い場所

電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水､ジュースなど）を絶対にいれないでください。

次のような場合には、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売へ修理を依頼してください。
- ○ 電源コード、またはプラグが破損したとき
- ○ 煙が出たり、異臭がしたとき
- ○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ○ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ○ 機器に異常や故障が生じたとき

お子様のいる環境で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人の方が、監視／指導してあげてください。

この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

海外で使用する場合は、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売に相談してください。

本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

この機器は、風通しの良い、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

定期的に電源コードを拭き、乾いた布でプラグ部分のゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントとの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

接続したコードやケーブル類は、煩雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手の届かないように配慮してください。

この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

濡れた手で電源プラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

この楽器を移動するときは、キャスターのロックを外し(キャスター搭載モデルのみ)、大人二人以上で静かに運んでください。キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でゆっくりと行ってください。傾いた道や凹凸のある道、砂利道ではキャスターを用いた移動は行わないでください。

この機器を移動するときは、CD トレーから CD を取り出してください。CD 及び内部機構が傷つく原因になります。

楽器を移動するとき以外は、キャスターをロックしてください。ロックしたまま移動しないでください。キャスターが破損する原因になります。

鍵盤ふたの開け閉めをする際には、指をはさまないよう、よく確認してから行ってください。

鍵盤ふたに物を乗せる、人や動物が乗るなど、鍵盤蓋に強い力を加えないでください。鍵盤ふたが破損したり、けがの原因になります。

ペダル部には指を入れないでください。けがをしたり、故障の原因になります。

CD トレーには音楽 CD 以外の物を入れないでください。音楽 CD を入れる際にはトレーに力を加えないでください。故障の原因になります。

USB 端子には USB 機器以外の物を入れないでください。USB 機器を接続する際には端子をこじらないでください。故障の原因になります。

お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。

落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

リモコンの乾電池は、

- ○ 指定以外の乾電池は使用しない
- ○ 極性を間違えて挿入しない
- ○ 日光・火など、過度の熱にさらさない
- ○ 使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- ○ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液漏れ・破裂によって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

目次

仕様

■オルガン部

音源

VASE III(ヴェース スリー) (容量 256Mbit(メガビット))、最大同時発音数 48

鍵盤

61 鍵（C スケール 5 オクターブ）、ベロシティ付き、標準鍵盤

音色

パネル 7 音色、カスタム 354 音色、ドラムセット 12

効果

移調、調律、純正律、タッチセンス、リバーブ、コーラス、サステイン、ビブラート

コントロール

主音量、エクスプレッションペダル

リズム

スタイル

メトロノーム 6 スタイル、リズム 22 スタイル

コントロール

パターン、音量、テンポ（タッチテンポ付き）、スタート

■メディアプレイヤー部

対応メディア

CD

再生：音楽 CD

USB メモリー（SO-70CU のみ）

録音：WAV

再生：WAV、MP3、WMA、AAC、MID（GM1 上位互換）

コントロール

メディア、リピート、マイナスワン、テンポ、キー、選曲、サーチ、停止、再生、録音、再生音量、CD 開閉

録音ソース（SO-70CU のみ）

オルガン、内蔵マイク

■総合

外部端子

ヘッドホン（ステレオミニ）、外部出力（ステレオ標準）、マイクロホン（モノ標準、音量調節付き）、外部音声（ステレオミニ、音量調節付き）、サステインペダル、MIDI IN、MIDI OUT

USB メモリー／ FDD 端子（SO-70CU のみ）

サウンドシステム

アンプ

40W×2

スピーカー

ウーファー 20cm×2、ツィーター 6.6cm×2

電源

AC100V 50/60Hz 40W

寸法

幅 96× 奥行 37× 高さ 84 cm（キャスター取付時）

幅 96× 奥行 37× 高さ 78 cm（アジャスター取付時）

重量

31.5 kg（SO-50C）、32.0kg（SO-70CU）

付属品

椅子、手提げ袋

主な特長

- 堅牢な直方体スタイル筐体。
- 使用頻度の高い機能を厳選したシンプルなフロントパネル。
- ステレオサンプリングで広がりのある美しいピアノ音色。
- 音楽 CD、USB メモリーに対応したメディアプレイヤー。
- オルガン演奏と教室の演奏歌唱を同時に録音可能な録音機能。
- 2 ウェイ 4 スピーカーによる、明瞭度の高い音質。
- マイクロホンや携帯オーディオプレイヤーを接続し、簡易 PA 装置として使用できるリアーパネル。
- 本体から離れて操作できるリモコン対応（別売）。
- 環境に配慮した低ホルムアルデヒド材を使用（F ☆☆☆☆）。

F ☆☆☆☆(エフ フォースター)とは

JIS と JAS が定めるホルムアルデヒド放散量に対する基準で、「F +☆マーク」で表示されます。

F ☆☆☆☆は「ホルムアルデヒド発散量が最も少ない」とされる最高基準であり、使用面積に制限のない材料であることを表すものです。

GM システムについて

GM（General MIDI(ジェネラル ミディ)）システムとは、音源の MIDI 機能の仕様を、メーカーを越えて標準化することを目的とした推奨規定です。GM システムに合致した音源や曲データには GM マークが付いており、GM マークの付いた曲データは、GM マーク付きの音源であれば、どれでも同じ演奏表現ができます。

本機は、GM システムレベル 1 に対応しています。

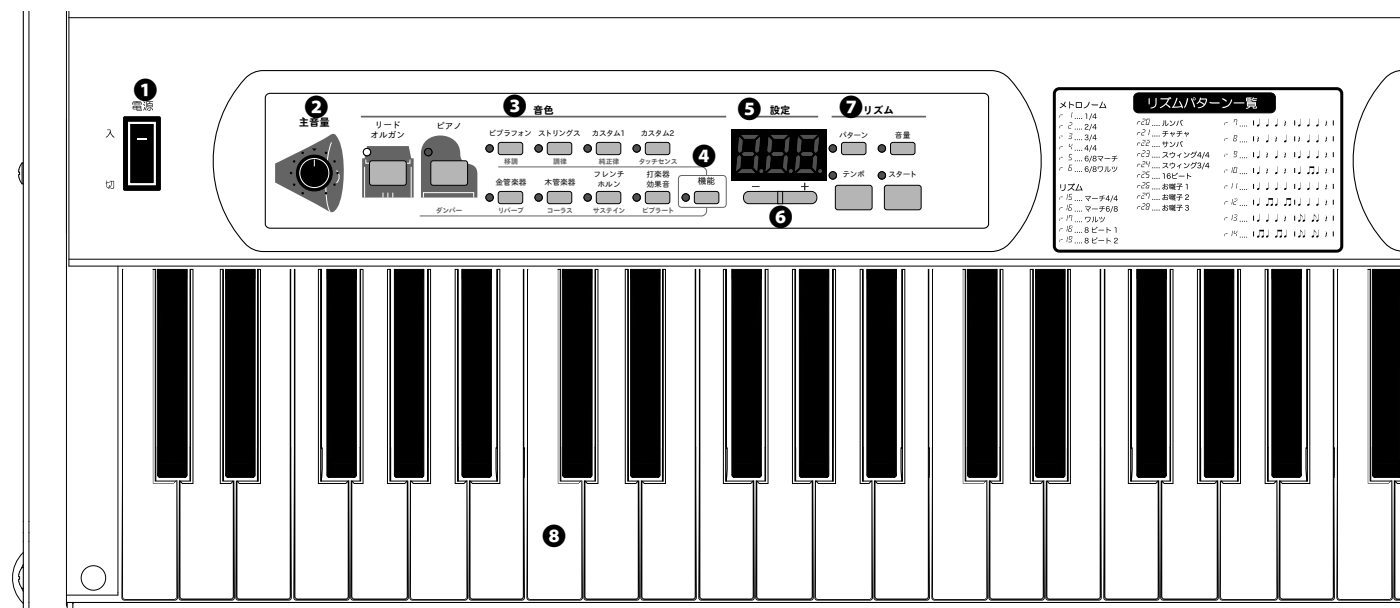
GENERAL MIDI

技術と知的所有権

この製品は、Microsoft(マイクロソフト) が所有する技術が含まれ、Microsoft のライセンス無く使用、販売することはできません。

この製品は、Microsoft の知的所有権で保護されており、この技術を Microsoft のライセンス無しに 本製品から外して使用、販売することは禁止されています。

上面

共通部

❶ 電源スイッチ

本機の電源を「入／切」します。スイッチを入れると [リードオルガン] のランプが点灯し、演奏できる状態になります。

オルガン部

❷ [主音量] つまみ

オルガン部（鍵盤演奏、リズム）の最大音量を調節します。

❸ 音色ボタン群

鍵盤で演奏する音色を選択します。また、❹機能ボタンと組み合わせて、各種機能を選択する場合にも使用します。(P. 11)

❹ [機能] ボタン

移調やタッチセンスといった、各種機能を選択します。このボタンを「オン」にした状態で各音色ボタンを押すと、各機能が選択されます。(P. 14)

❺ ディスプレイ

❻ [設定] ボタン

各設定値を増減します。

❼ リズムボタン群

内蔵リズムの選択、音量調整、テンポ調整、スタート／ストップを行います。(P. 16)

❽ 鍵盤

5 オクターブ 61 鍵、ベロシティ付き、標準サイズの鍵盤です。

メディアプレイヤー部

❾ [メディア] ボタン（SO-70CU のみ）

再生をするメディアを選択します。(P. 22)

❿ [リピート] ボタン

繰り返しや一曲停止といった、再生方法を選択します。(P. 20)

⓫ [マイナスワン] ボタン

再生中の曲から一部の音を消音します。(P. 21)

⓬ [キー] ボタン（SO-70CU のみ）

再生中の曲を移調します。(P. 21)

⓭ [テンポ] ボタン

再生中の曲のテンポを増減します。(P. 21)

⓮ ディスプレイ（曲番号窓）

⓯ ディスプレイ（ロケート窓）

⓰ [選曲] ボタン

再生する曲を選択します。(P. 18)

⓱ [サーチ] ボタン

曲中の任意の場所へ移動します。(P. 19)

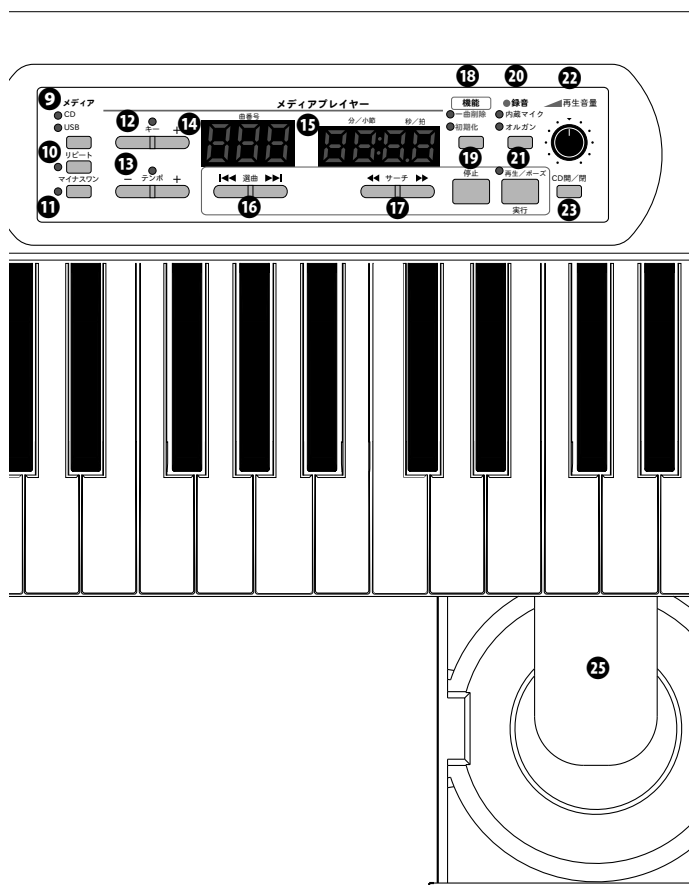
⓲ [機能] ボタン（SO-70CU のみ）

曲の削除や USB メモリーの初期化などを行います。(P. 27)

⓳ [停止] ボタン

再生や録音を停止します。

⓴ [録音] ボタン（SO-70CU のみ）

録音方法を選択し、録音準備を行います。(P. 28)

❷ [再生／ポーズ] ボタン

再生や録音を始めます。再生中にもう一度押すと、ポーズ（一時停止）します。(P. 18)

また、各機能の実行にも使用します。(P. 27)

❷ [再生音量] つまみ

メディアプレイヤー部の再生音量を調節します。(P. 18)

❷ [CD 開／閉] ボタン

CD トレーを開閉します。

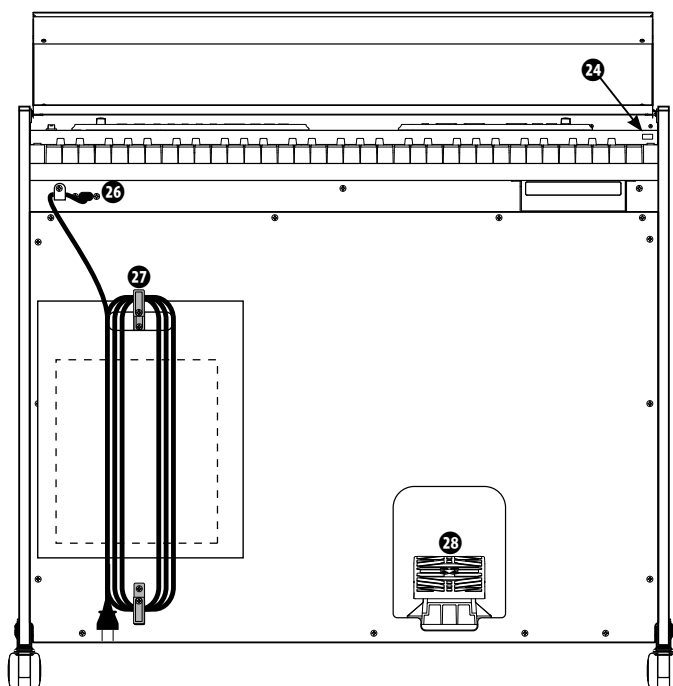
❷ USB 端子（SO-70CU のみ）

USB メモリーに音声を録音／再生する場合には、ここに USB メモリーを差し込みます。(P. 22)

❷ CD トレー

音楽 CD を再生する場合には、ここに CD を入れます。(P. 18)

前面

電源

❷ AC インレット

付属の AC コードを使用して、コンセントに接続します。

❷ コードフック

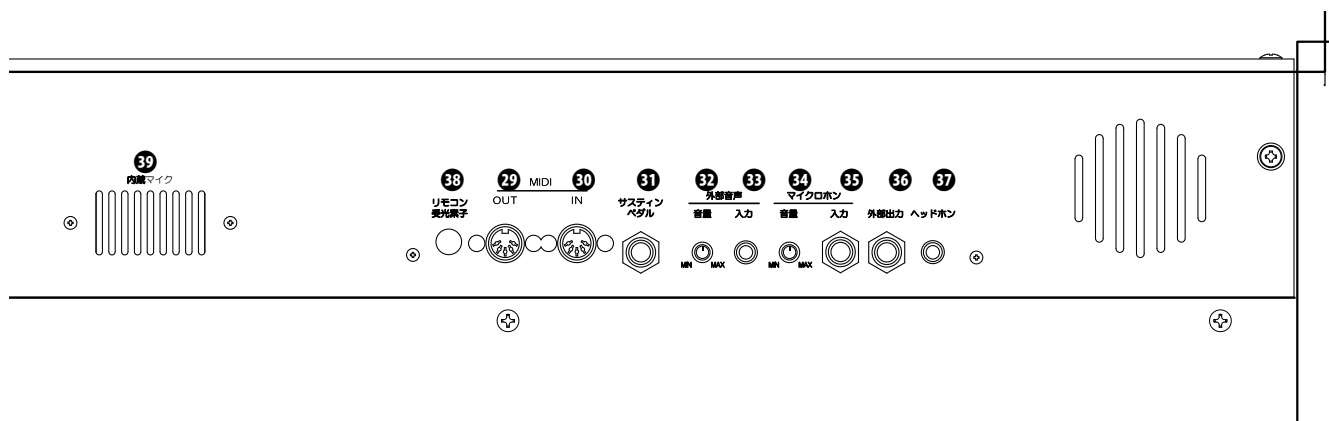
本機のご使用後は、付属の AC コードをここに巻き付けてください。また、付属の手提げ袋に取扱説明書（本書）や楽譜などを入れ、ここに掛けておくと便利です。

オルガン部

❷ エクスプレッションペダル

鍵盤演奏の音量を調整し、演奏に抑揚表現を加えるためのペダルです。(P. 10)

また、設定によって音を持続させるためのダンパーペダルとして使用することもできます。(P. 15)

背面

ジャックパネル

㉙ MIDI OUT（ミディアウト） ジャック

鍵盤演奏の情報を送信します。(P. 33)

㉚ MIDI IN（ミディイン） ジャック

演奏情報を受信します。本体の鍵盤とは別の、GM1 準拠マルチティンバー音源へ接続されています。(P. 33)

㉛ [サステインペダル] ジャック

ダンパーペダル VFP1 ／フットスイッチ FS-9H（別売）を接続し、鍵盤演奏にダンパー操作を加える場合に使用します。誤動作を防止するため、接続は電源を切った状態で行ってください。(P. 32)

㉜ [外部音声音量] つまみ

㉝外部音声入力ジャックに接続した機器の音量を調節します。

㉝ [外部音声入力] ジャック

市販の携帯用オーディオ機器を接続し、本機のスピーカーを使って大音量で再生する場合に使用します。

端子はステレオミニジャックで、ヘッドホンレベル／ラインレベルに対応しています。(P. 30)

㉞ [マイクロホン音量] つまみ

㉟マイクロホン入力ジャックに接続したマイクロホンの音量を調節します。

㉟ [マイクロホン入力] ジャック

本機を拡声器として使用する場合に、外部マイクロホン（別売）を接続します。

端子はモノラル標準ジャックです。(P. 31)

㊱ [外部出力] ジャック

本機の演奏を外部のアンプで拡声したり、外部の録音機で録音したりする場合に使用します。

この端子はステレオ標準ジャックです。接続にはステレオ標準プラグをご使用ください。モノラルのプラグを挿入すると、左チャンネルのみ出力されます。

㊲ [ヘッドホン] ジャック

個人練習をする場合に、ヘッドホンを接続します。スピーカーからは音が出なくなります。

端子はステレオミニジャックです。(P. 32)

㊳ リモコン受光窓

リモコンの操作を受信します。リモコン使用時は塞がないようご注意ください。

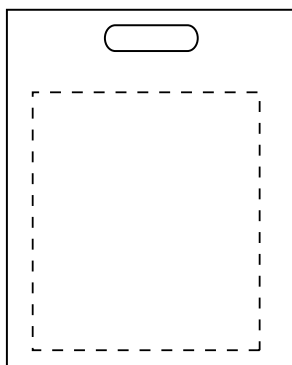
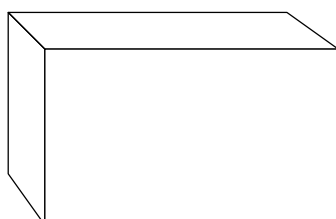
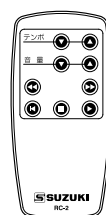
㊴ 内蔵マイクロホン（SO-70CU のみ）

録音機能用のマイクロホンです。録音時に「内蔵マイク」を選択された場合に働きます。

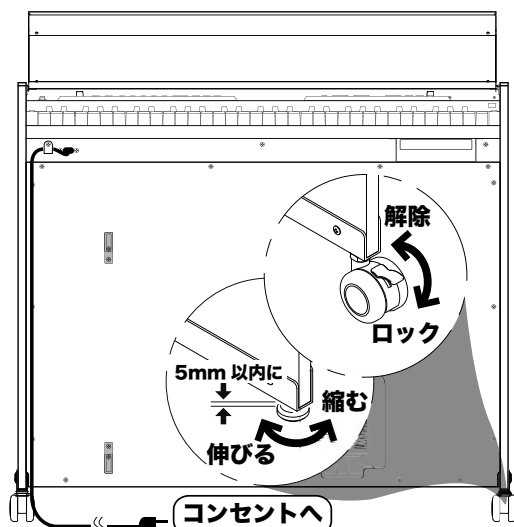
付属品

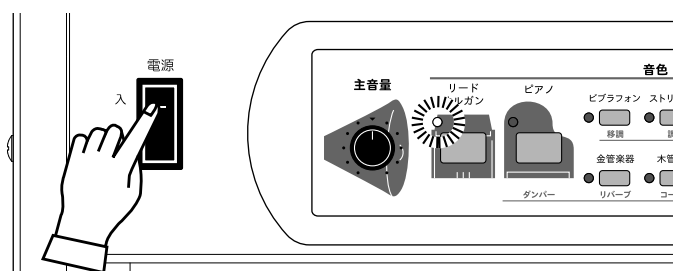
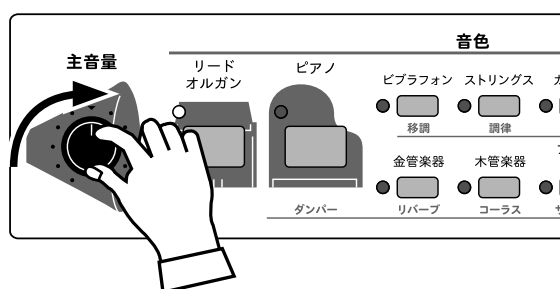
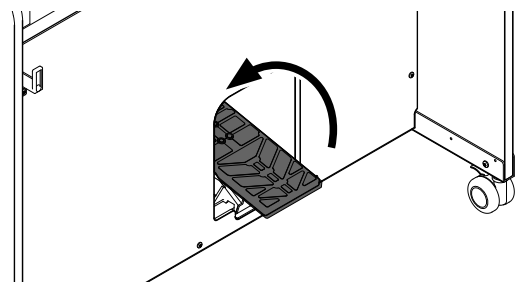
1 椅子

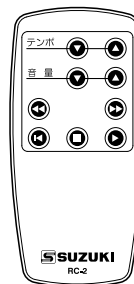
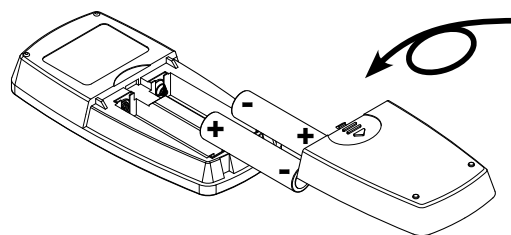
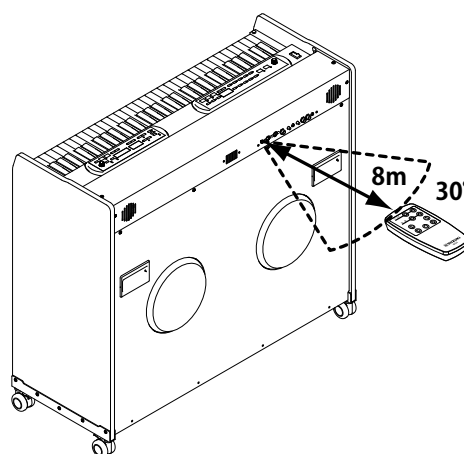
詳細は椅子に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 手提げ袋

別売品

リモコン RC-2

アジャスターセット SOP-4A

本体の準備

電源プラグをコンセントに差し込み、車輪をロックします。

アジャスター（別売）が取り付けられている場合は、廻して床の凹凸に合わせます。安全のため、ネジ部が 5mm 以内でご使用ください。

[電源] スイッチを入れます。数秒後に [リードオルガン] のランプが点灯し、演奏できる状態になります。

[主音量] つまみを中央付近にセットします。

エクスプレッションペダルを踏み込んでおきます。

リモコンの準備

リモコンの電池蓋を開け、単四乾電池 2 本を表記に従ってセットします。セット後は電池蓋を閉めてください。

リモコンのご注意

- 使用時はリモコンを本体背面のリモコン受光部に向け、動作範囲で操作してください。
  動作範囲 : 距離 8m 以内、角度 30 度以内
- 動作範囲内であっても、間に障害物があると正常に操作できないことがあります。
- 上記通りの方法で操作しても動作しない場合は、電池が消耗していることが考えられます。2 本とも新しい電池に交換してください。
- 長くご使用にならない場合は、液もれを防ぐために電池を外しておいてください。
- リモコンでは 2 つ以上のボタン操作を同時に行うことはできません。

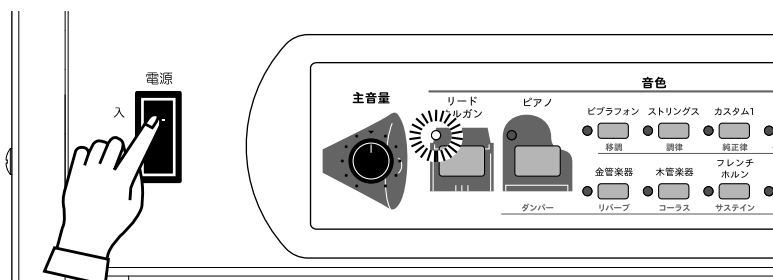
電池の処分について

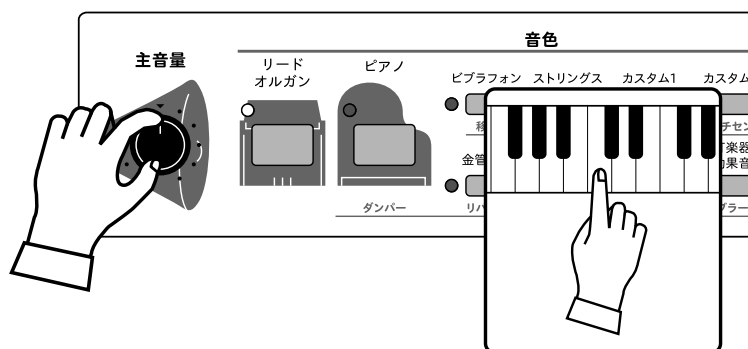
使用済みの乾電池は「燃えないごみ」として、お住まいの市町村のルールに従って処分してください。

ご使用が終わったら

ご使用後は、[電源] スイッチを切り、AC コードをコンセントから抜きコードフックに巻き付けてください。

基本的な使いかた

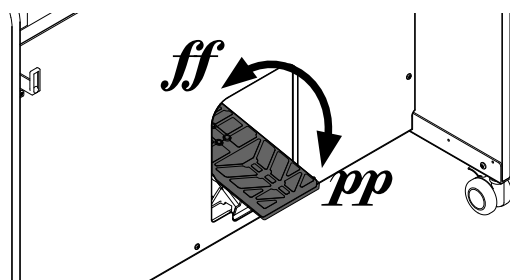
❶ 電源を入れる／切る

[電源スイッチ] を「入」にします。数秒で [リードオルガン] のランプが点灯し、演奏できる状態になります。ご使用後は「切」にしてください。

❷ 音量を調節する

鍵盤を弾きながら [主音量] つまみで曲中の最大音量を調節します。

tips **充分な音量が出ないときは**

[主音量] つまみを上げても充分な音量が得られない場合は、[エクスプレッションペダル] が戻っている可能性があります。

[エクスプレッションペダル] をつま先側に踏み込んだ状態で、最大音量を調節してください。

❸ 演奏に抑揚を付ける

演奏中の音量調節は [エクスプレッションペダル] で行います。つま先側に踏み込むと音量が上がり、かかと側に戻すと音量が下がります。

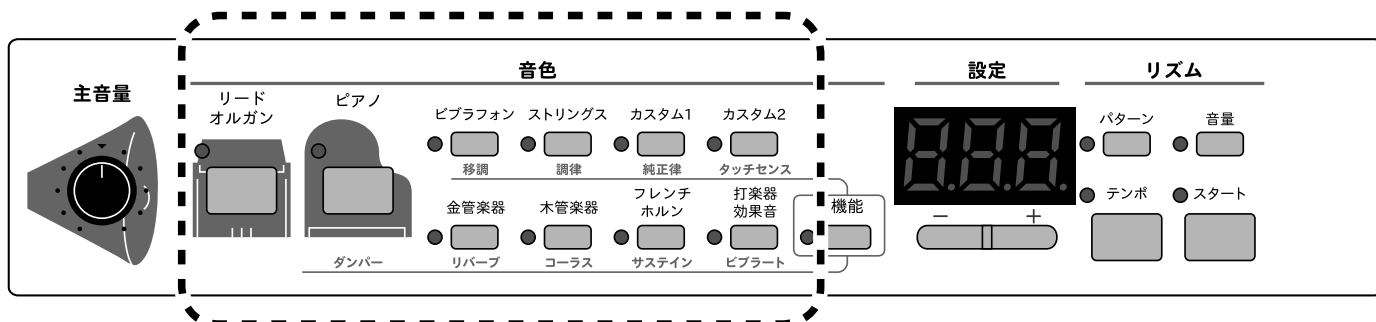
tips

エクスプレッションペダルの効果的な使いかた

ピアノとは違い、オルガン系の音色は鍵盤を弾く強さでは音に強弱がかかりません。[エクスプレッションペダル] を使って、演奏中の抑揚表現を行います。

音色を選ぶ

パネル音色を選ぶ

オルガン部の音色ボタン群を使って、音色を選びます。

[リードオルガン] から [フレンチホルン] までの音色は、ボタンを押すとランプが点灯し、その音色で演奏できます。これらを「パネル音色」と呼びます。

リードオルガン

学校教育に古くから使われてきたリードオルガンの音色です。演奏中の音量は鍵盤演奏ではなくエクスプレッションペダルで調節します。

ピアノ

音楽ホールにあるようなコンサートグランドピアノの音色です。鍵盤を演奏する強さによって音に強弱が付けられます。

ビブラフォン

鉄琴の一種で、幅広い音域と柔らかい音色が特徴です。

ストリングス

弦楽器によるアンサンブルです。器楽合奏時に和音を演奏し、和声感をはっきりとさせるのに効果的です。

金管楽器

鍵盤の高音側はトランペット、低音側はチューバが鳴ります。

木管楽器

鍵盤の高音側はフルート、低音側はクラリネットが鳴ります。

フレンチホルン

トランペットと比べて柔らかい音色の金管楽器です。ストリングスと同様に、器楽合奏時に和音を演奏し、和声感をはっきりとさせるのに効果的です。

[カスタム 1] と [カスタム 2] は、電源を入れた時には以下の音色が登録されています。

カスタム 1

「リズムセクション A」鍵盤の低音側はドラムセット、高音側はウッドベースが鳴ります。

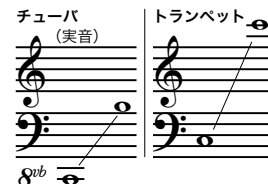
カスタム 2

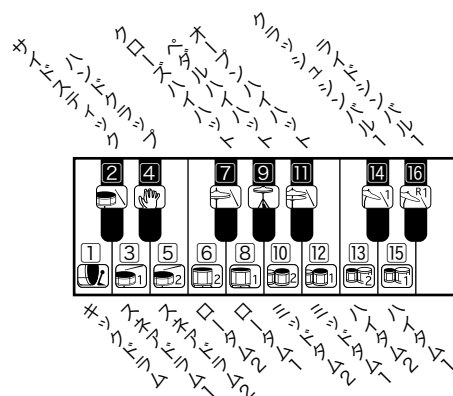
「箏」日本の琴、箏が鳴ります。

tips ダンパーペダルが無くても

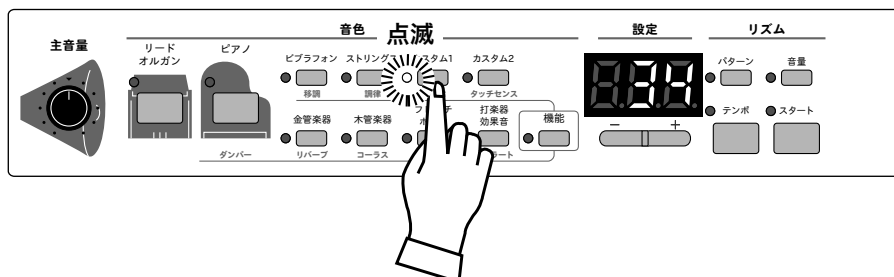
ピアノやビブラフォンでは鍵盤から指を離しても音を持続させる「ダンパーペダル」を使った演奏が一般的です。

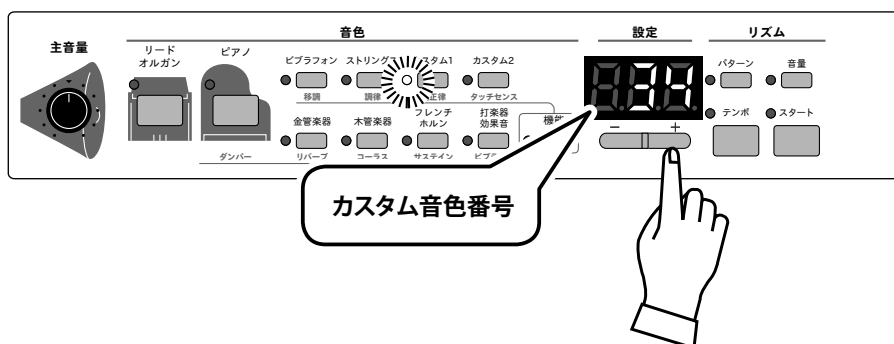
本機にダンパーペダルは付属していませんが、設定によりエクスプレッションペダルをダンパーペダルとして使えます (P. 15)。

tips 金管楽器、木管楽器の音域

tips ドラムセットの配列

「リズムセクション A」のドラムセットは、本体の印刷とは異なり以下のように配列されています。

カスタム音色を選ぶ

パネル音色にない音色は、カスタムボタンに登録して使います。

❶ [カスタム 1] または [カスタム 2] ボタンを押す

音色を登録したいボタンを選びます。本機には 2 つのカスタムボタンがあり、それぞれに違った音色を登録できます。選ばれたボタンのランプが点滅し、現在登録されている音色番号がディスプレイに表示されます。

❷ [設定] ボタンを使って音色を選ぶ

カスタム音色番号対応表 (P. 36) を参考に、音色を選びます。選んだ音色番号はディスプレイに表示され、電源を切るまでそのボタンに登録されています。

電源を切ると、登録した音色は初期化されます。

tips **カスタム音色を素早く選ぶ**

カスタム音色はグループに分かれています。各音色グループの先頭に素早く移動するには、移動したい方向と反対側の設定ボタンを押しながら、移動したい方向の設定ボタンを押します。

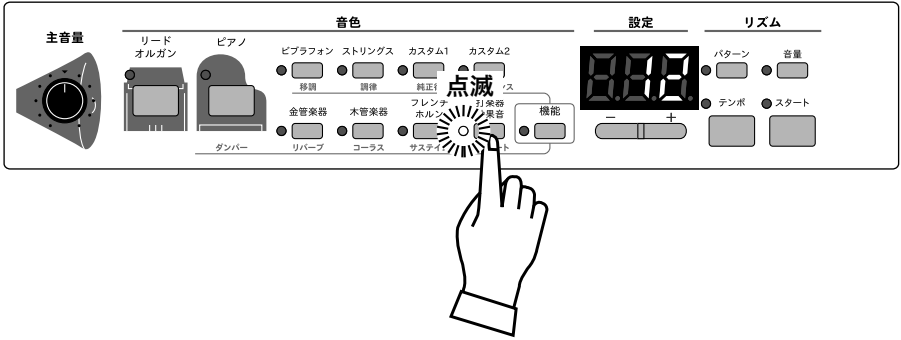
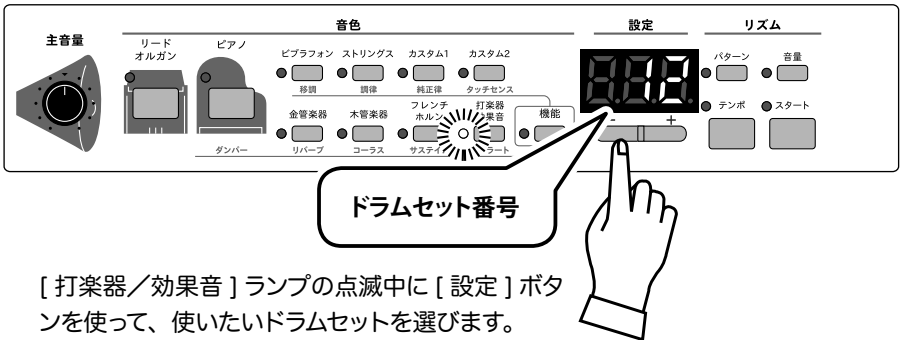
例えば、34「マリンバ」が選択されている状態で設定 [-] ボタンを押しながら設定 [+] ボタンを押すと、45「ナイロン・ストリング・ギター」に移動します。

設定 [-]、[+] ボタンを 1 秒以上押したままにすると、その間、数値が連続して変化します。

打楽器音色や効果音を使う

❶ [打楽器／効果音] を押す

鍵盤の各キーはそれぞれの打楽器音や効果音が鳴ります（右図）。

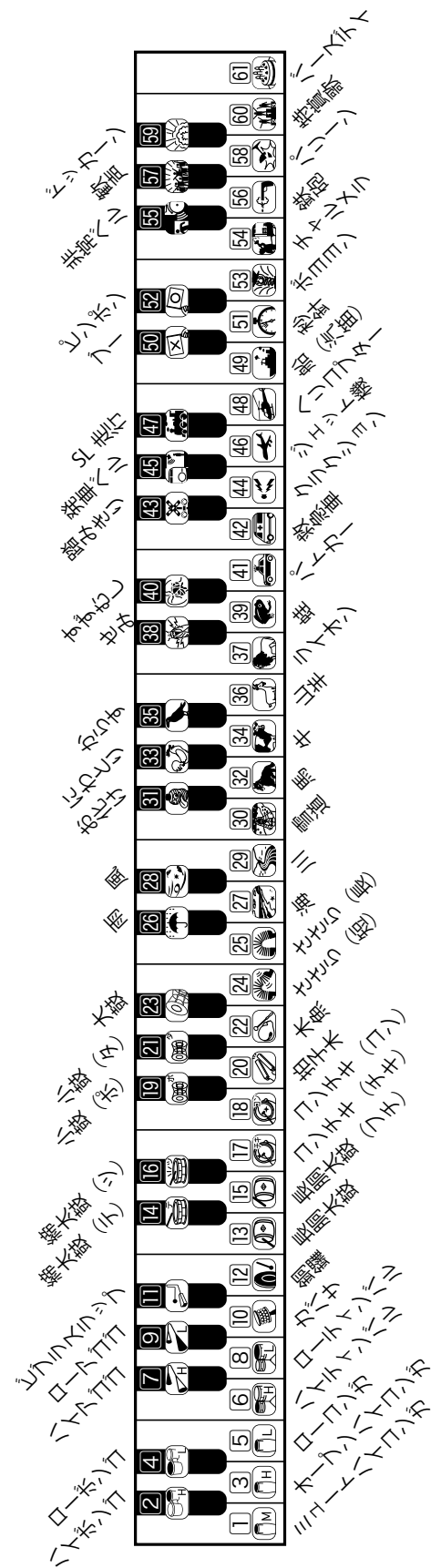
[打楽器／効果音] ボタンのランプが点滅し、ディスプレイにはドラムセット番号が表示されます。電源投入直後は SO-70CU セット (12 番) です。

❷ 必要に応じてセットを選ぶ

[打楽器／効果音] ランプの点滅中に [設定] ボタンを使って、使いたいドラムセットを選びます。

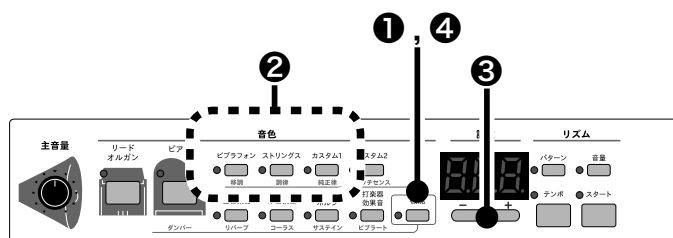
番号	セット名
1	スタンダード 1
2	スタンダード 2
3	ルーム
4	パワー
5	エレクトロニック
6	アナログ
7	ジャズ
8	ブラッシュ
9	オーケストラ
10	ジャパニーズ 1
11	ジャパニーズ 2
12	SO-70CU

tips **各ドラムセットと鍵盤の対応**

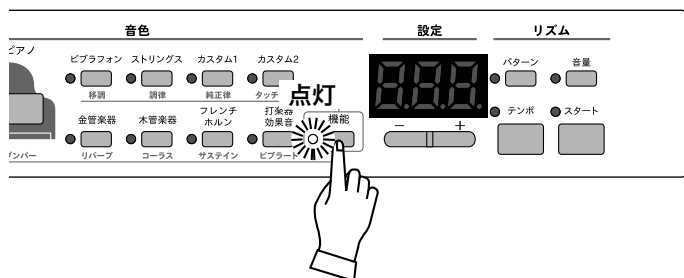
恐縮ですが、この取扱説明書では割愛致します。必要な方は、弊社ホームページより本機の「MIDI インフォメーション」をご参照ください。

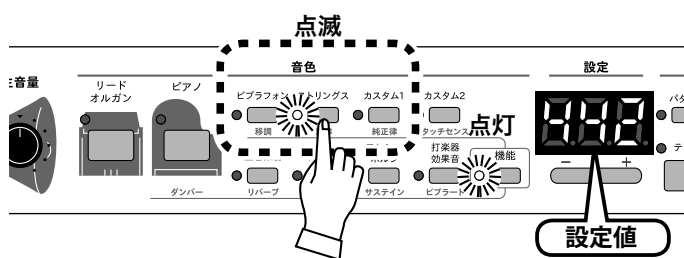
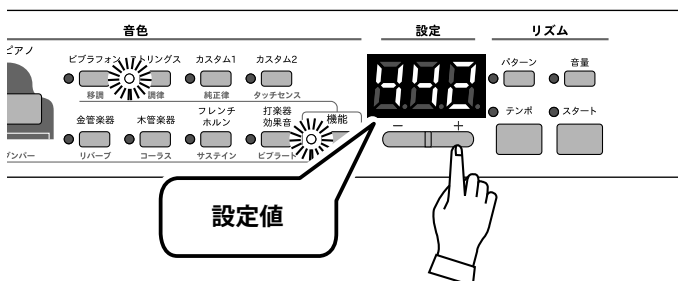
http://www.suzuki-music.co.jp/support/

打楽器／効果音（SO-70CU セット）

移調や調律をする

他の楽器や歌い手に合わせて移調や調律の変更を行えます。

❶ [機能] ボタンを押す

[機能] ボタンを押して、ランプを点灯させます。

このランプが点灯している間は、音色ボタン群の各ボタンは各機能を選ぶ働きをします。

❷ [移調]、[調律]、[純正律] ボタンを押す

設定値を変えたいボタンを押して、ランプを点滅させます。

❸ [設定] ボタンで設定する

各機能の設定範囲は、以下の通りです。

移調

- 12 〜 12、初期値 0（半音単位で上下 1 オクターブまで）

例えば、トランペット（B♭）の楽譜を読み替えなしで演奏する場合には、「-2」に設定します。

調律

A=420 〜 450Hz、初期値 442

純正律

主要3和音（I, IV, V）のうねりが無く美しく響きますが、調により設定を変更する必要があります。

設定範囲：oFF、C 〜 b、初期値 oFF（平均律）

臨時記号は、例えば A♭は「A-」のように♭をマイナス記号で代用して表示されます。

設定値をすばやく初期値に戻すには、[設定] ボタンの [-][+] を同時に押します。

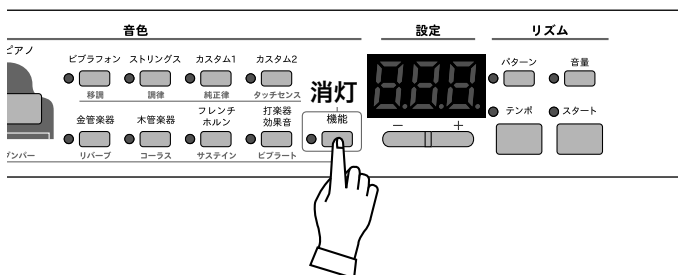
電源を切ると、設定値はすべて初期値に戻ります。

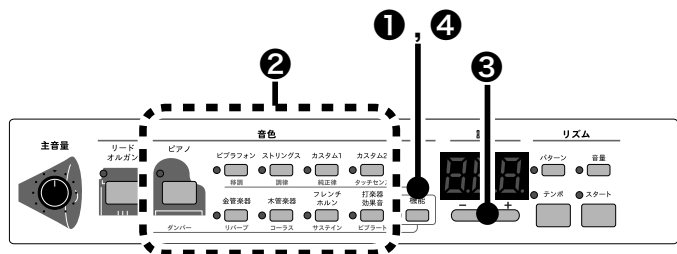
NOTE: 音律による響きの違いを感じるには、「リードオルガン」や「鋸歯状波」など、単純で倍音が豊富に含まれている音色での演奏が効果的です。

NOTE: 本機の純正律機能は擬似的に純正律を再現するもので、調の指定を行っても和声によってはうねりが聞こえる場合があります。

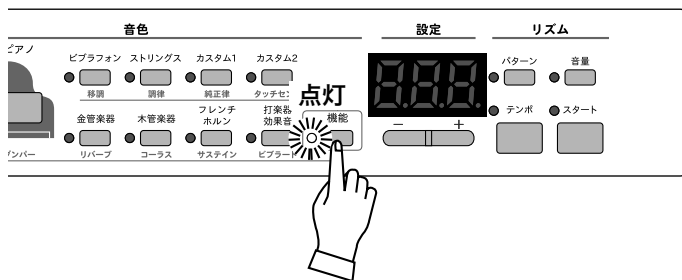
❹ [機能] ボタンを押す

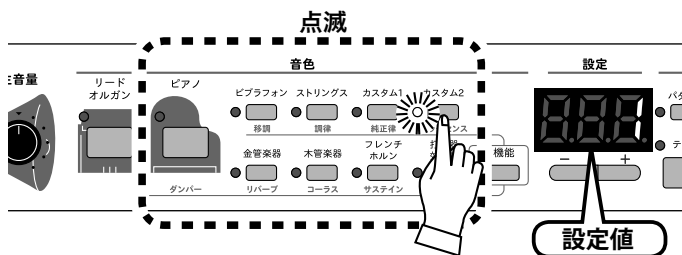
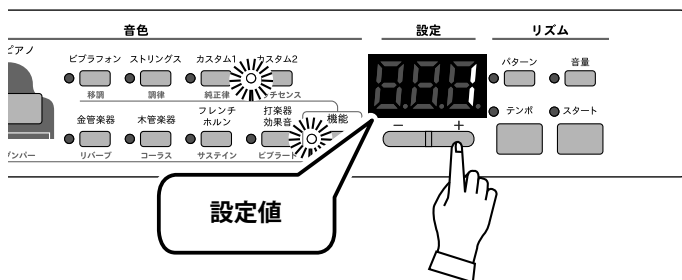
[機能] ボタンを押して、ランプを消灯させます。

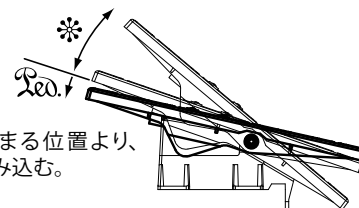
音色ボタン群の各ボタンは、音色を選ぶ機能に戻ります。

効果をかける

鍵盤音色にさまざまな効果をかけられます。

❶ [機能] ボタンを押す

[機能] ボタンを押して、ランプを点灯させます。

このランプが点灯している間は、音色ボタン群の各ボタンは各機能を選ぶ働きをします。

❷ [ダンパー]、[タッチセンス]、[リバーブ]、[コーラス]、[サステイン]、[ビブラート] ボタンを押す

設定値を変えたいボタンを押して、ランプを点滅させます。

❸ [設定] ボタンで設定する

各機能の設定範囲は、以下の通りです。

ダンパー

エクスプレッションペダルを音量調節ではなく、ダンパーペダルとして使用します。この機能は「ピアノ」「エレクトリック・ピアノ」、「クロマチック・パーカッション」及び「ギター」の音色グループで有効です。

設定範囲：oFF、on

初期値：oFF

タッチセンス

鍵盤演奏の強弱によって、音に強弱が付きます。

設定範囲：oFF、1（重い）～3（軽い）

初期値：音色によって異なります。

リバーブ

コンサートホールのような残響が加わります。

設定範囲：oFF、1（小）～ 10（大）

初期値：5

コーラス

音にうねるような広がりが付きます。

設定範囲：oFF、1（小）～5（大）

初期値：oFF

サステイン

鍵盤から指を離した後に余韻が残ります。

設定範囲：oFF、1（短）～5（長）

初期値：oFF

ビブラート

音を微妙にふるわせます。

設定範囲：oFF、1（小）～5（大）

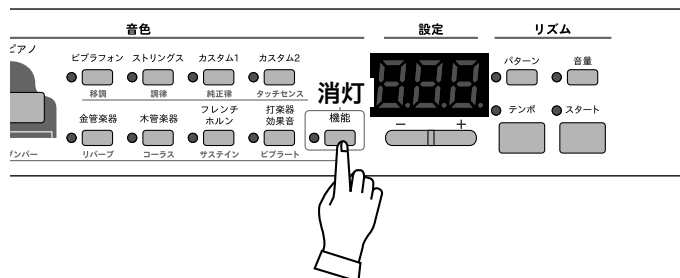
初期値：音色によって異なります。

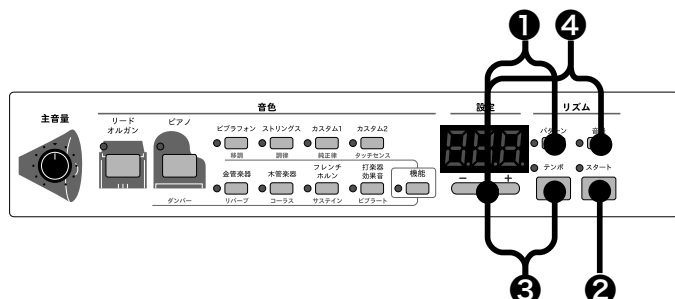
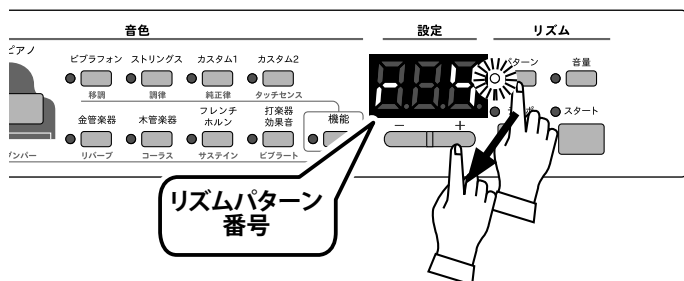
設定値をすばやく初期値に戻すには、設定 [-][+] ボタンを同時に押します。

電源を切ると、設定値はすべて初期値に戻ります。

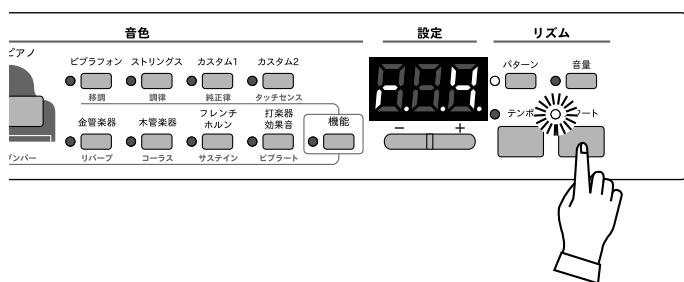
❹ [機能] ボタンを押す

[機能] ボタンを押して、ランプを消灯させます。

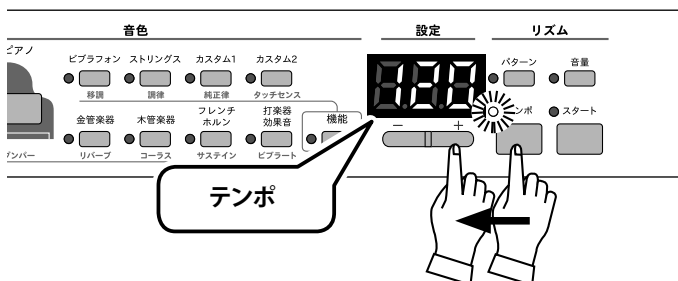
音色ボタン群の各ボタンは、音色を選ぶ機能に戻ります。

リズムを使う

演奏や歌唱のテンポ把握や雰囲気づくりに便利な、リズムを再生できます。

❶ パターンを選ぶ

・ [パターン] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
・ [設定] ボタンで再生したいリズムパターンを選択します。

❷ スタート／ストップ

・ [スタート] ボタンを押すとランプが点灯し、選択したパターンのリズムがスタートします。
・ ストップするには、もう一度 [スタート] ボタンを押します。

リズムの再生中には、図のようにドットが拍子に合わせて点灯します。

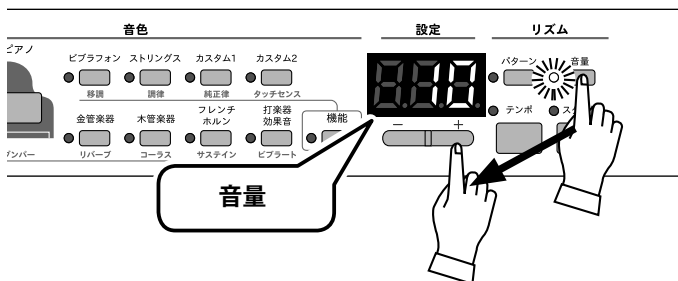
❸ テンポを調節する

楽譜等に指定されたテンポに設定するには

・ [テンポ] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
・ [設定] ボタンで、再生したいテンポに設定します。

現在行われている演奏にテンポを合わせるには

・ 演奏を聴きながら [テンポ] ボタンを拍子に合わせて数回「トン、トン……」と叩きます。計測されたテンポがディスプレイに表示されます（タッチテンポ機能）。

設定範囲は、20 ～ 300 です。

❹ 音量を調節する

鍵盤演奏にリズムの音量が合わない場合は、

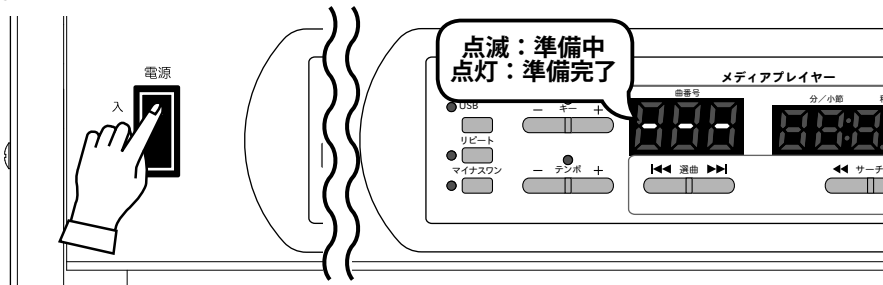
・ [音量] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
・ [設定] ボタンでリズムの音量を調節します。

設定範囲は、oFF、 1～ 10 です。

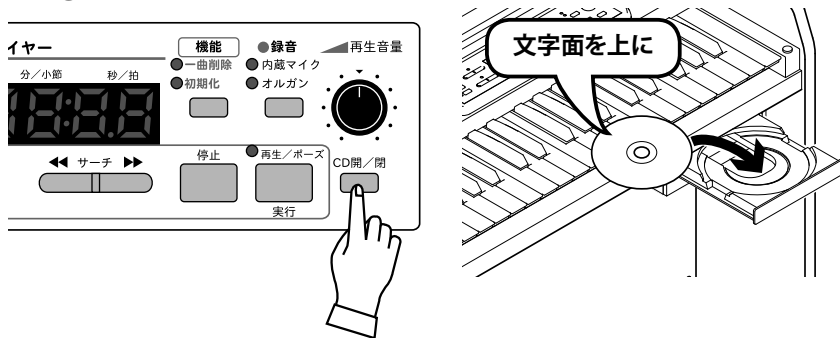
リズムパターン一覧表

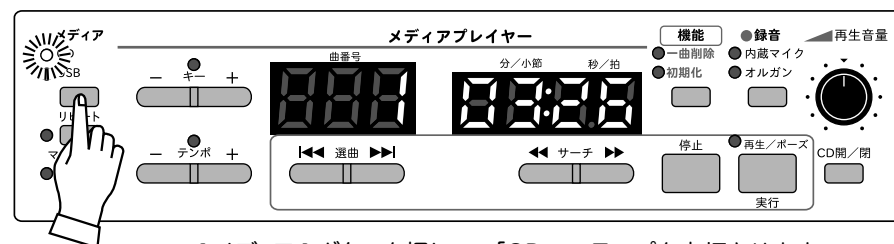
番号	リズムパターン名	テンポ	解説
r 1	メトロノーム 1/4	♩=120	単純なメトロノーム音です。ベルは鳴りません。
r 2	メトロノーム 2/4	♩=120	単純なメトロノーム音です。1 拍目にベルが鳴ります。
r 3	メトロノーム 3/4	♩=120	単純なメトロノーム音です。1 拍目にベルが鳴ります。
r 4	メトロノーム 4/4	♩=120	単純なメトロノーム音です。1 拍目にベルが鳴ります。
r 5	メトロノーム 6/8 マーチ	♩.=120	単純なメトロノーム音です。「タッカタッカ」と、1 拍を 3 連符で表現する楽曲に適しています。
r 6	メトロノーム 6/8 ワルツ	♩.=60, 𝅗𝅥.=60	単純なメトロノーム音です。「タ・ト・ト・タ・ト・ト」と、1 拍を♩.や𝅗𝅥.で表現する楽曲に適しています。
r 7	| ♩ ♩ ♩ 𝄽 | ♩ ♩ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r 8	| 𝄽 ♩ 𝄽 ♩ | 𝄽 ♩ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r 9	| ♩ 𝄽 ♩ 𝄽 | ♩ ♩ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r10	| ♩ 𝄽 ♩ 𝄽 | ♩ ♫ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r11	| ♩ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r12	| ♩ ♫ ♩ ♫ | ♩ ♩ ♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r13	| ♩ ♩ ♩ 𝄽 | ♪♩ ♪♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r14	| ♫ ♩ ♫ ♩ | ♪♩ ♪♩ 𝄽 |	♩=120	小学校低学年用の、基本リズムです。
r15	マーチ 4/4	♩=120	「ひらいたひらいた」や「かたつむり」に代表される､1 拍を♫で表現するマーチです。
r16	マーチ 6/8	♩.=120	「かくれんぼ」や「こいのぼり（いらかの……)」に代表される、1 拍を♩ ♪や♪. 𝅘𝅥𝅯で表現するマーチです。
r17	ワルツ	♩=120	「うみ」や「こいのぼり（やねより……)」に代表される、ミドルテンポに適したワルツです。
r18	8 ビート 1	♩=120	比較的静かな編成の 8 ビートです。「夕やけこやけ」、「もみじ」などに適しています。
r19	8 ビート 2	♩=120	比較的賑やかな編成の 8 ビートです。
r20	ルンバ	♩=128	ラテンのリズム、ルンバです。
r21	チャチャ	♩=128	ラテンのリズム、チャチャです。
r22	サンバ	♩=120	ラテン打楽器とドラムセットによるサンバです。
r23	スウィング 4/4	♩=150	「茶色のこびん」に代表されるスウィングです。
r24	スウィング 3/4	♩=134	「ハッピーバースデー」や､歌劇「リゴレット」中の「女心の歌」のような､スウィングしたワルツです。
r25	16 ビート	♩=100	「翼をください」に代表される、軽い 16 ビートです。
r26	お囃子 1	♩=120	長胴太鼓による、お囃子のリズムです。
r27	お囃子 2	♩=120	長胴太鼓による、お囃子のリズムです。
r28	お囃子 3	♩=120	長胴太鼓による、お囃子のリズムです。

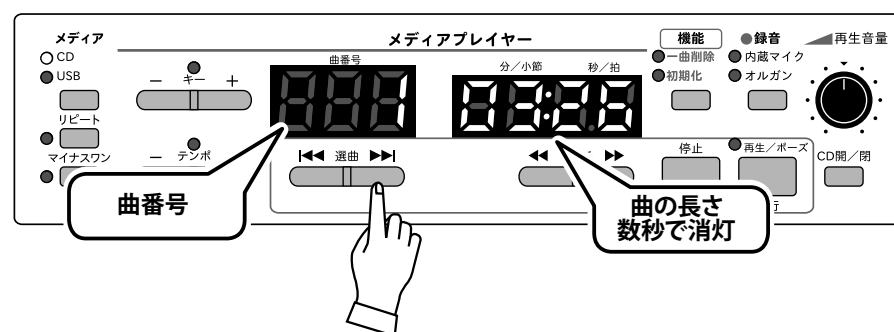
CD を 聴く

基本的な使いかた

❶ 電源を入れる／切る

[電源スイッチ] を「入」にします。機器内の準備のため約 25 秒お待ちください。メディアプレイヤー部の曲番号窓に「---」が点灯表示されたら準備完了です。ご使用後は「切」にしてください。

❷ [CD 開／閉] ボタンを押して CD トレーを開け、CD を入れる

CD の文字面を上にしてトレー中央に（8cmCD は内側の円に）置きます。CD を置いたら、もう一度 [CD 開／閉] ボタンを押してトレーを閉じます。

❸ [メディア] ボタンで CD を選択する

[メディア] ボタンを押して、「CD」のランプを点灯させます。

❸ 選曲する

選曲 [⏮][⏭]（リモコンでは停止中に [◀◀][▶▶]）ボタンで再生する曲番号を選択します。同時に、その曲の長さが一定時間表示されます。

tips 再生できるディスク

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。

DualDisc および著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクは CD 規格に準拠していないことから、本機ではご使用いただけない場合があります。

本機で再生できるディスクは、以下のロゴマークが付いている 12cm/8cm のものです。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

CD-R/CD-RW は CD-DA 形式で記録した盤が再生可能です。

tips この表示は?

操作が可能になると、ディスプレイには以下のように表示されます。

ディスクが挿入されていません。

9（数字）59:59（数字）
ディスクが挿入されており、そのディスクの総曲数と総演奏時間を表示しています。

0（数字）　（空白）
ディスクが挿入されており、まだ選曲／再生操作がされていません。

NOTE: トレーを閉じた後、CD が再生可能になるまで約 15 秒かかります。

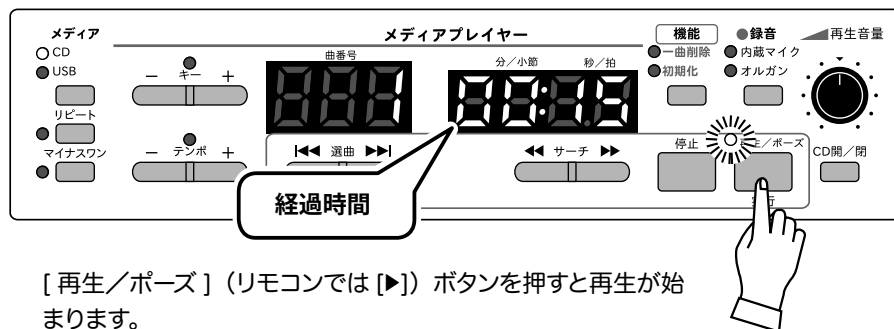
NOTE: リモコンではメディア選択は行えません。本体の [メディア] ボタンをご使用ください。

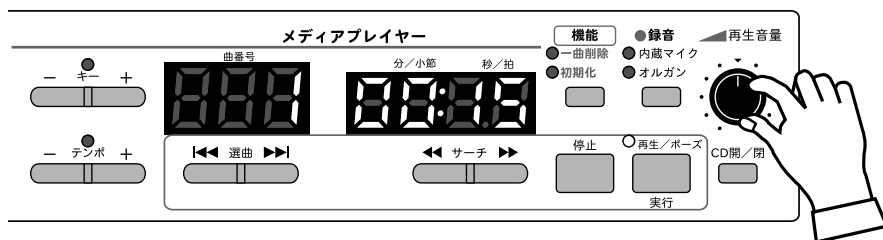
移動時には CD を取り出して

教室の移動や別館への運搬など、本機を移動するときは CD を取り出してください。CD や内部機構が傷つく原因になります。

急激な温度変化を避けて

急激な温度変化は避けてください。CD や内部機構が結露し、正常に動作しなくなることがあります。このような場合には、CD を取り出して、トレーを開けた状態で 1 時間程度置いてください。

❹ 再生を始める

[再生／ポーズ]（リモコンでは [▶]）ボタンを押すと再生が始まります。

❺ 音量を調節する

[再生音量] つまみを回して音量を調節します。

その他の操作

再生を止める

[停止] ボタンを押します。
リモコンでは [⏮] ボタンを押します。

再生中に一時停止する

[再生／ポーズ] ボタンを押します。もう一度押すと再生が再開します。
リモコンでは [■] ボタンを押します。[▶] ボタンを押すと再生が再開します。

曲の頭に戻す

選曲 [⏮] ボタンを再生中（または一時停止中）に押します。

前の曲へ戻す

選曲 [⏮] ボタンを停止中（または経過時間表示が "0:00" のとき）に押します。
リモコンでは [⏪] ボタンを停止中に押します。

次の曲へ進む

選曲 [⏭] ボタンを押します。
リモコンでは [⏩] ボタンを停止中に押します。

曲中の聴きたい部分を探す

サーチ [⏪][⏩] ボタンを聴きたい部分が見つかるまで押したままにします。
リモコンでは再生中または一時停止中に [⏪][⏩] ボタンを聴きたい部分が見つかるまで押したままにします。

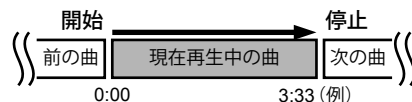
CD を取り出す

[CD 開／閉] ボタンを押します。

tips 再生中の表示

CD の再生中、ディスプレイには現在再生中の曲番号と経過時間が表示されます。

tips 再生中の曲が終わると

再生中の曲が終わると、自動的に停止し、その曲の先頭に戻ります。

CD 全体を連続再生する場合は、再生モードを "ALL"（オール）に設定します（P. 20）。

tips リモコンでの音量調節

リモコンの音量 [▼][▲] ボタンでも音量を調節することができます。

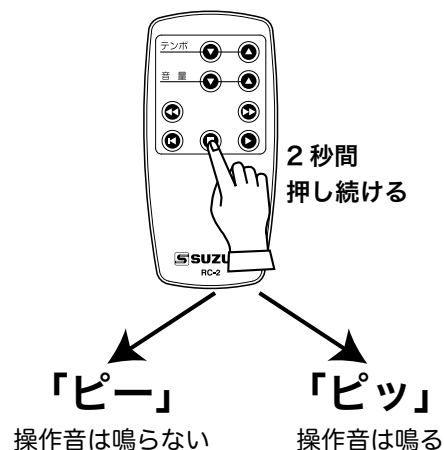
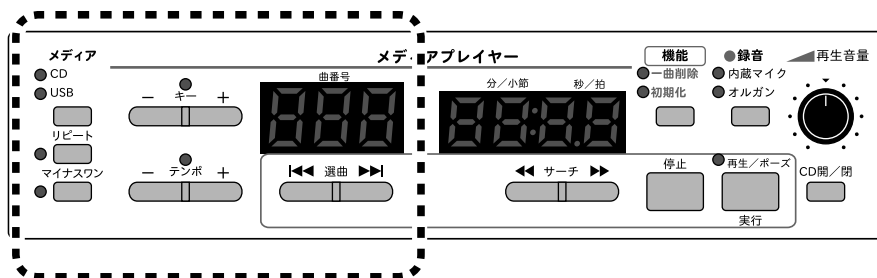
[再生音量] つまみで設定された音量を基準として 0% から 100% の間で調節しますので、元の音量より大きくすることはできません。

曲番号窓には元の音量に対する割合がパーセントで表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

tips リモコン操作音

リモコンを操作すると本体より「ピッ」という操作音が鳴り、操作を受け付けたことをお知らせします。

操作音が不要な場合は、停止中または一時停止中にリモコンの [■] ボタンを 2 秒間押し続けます。「ピー」という確認音が鳴り、その後操作音は発音しません。

操作音を再び鳴らすためには、停止中または一時停止中にリモコンの [■] ボタンを 2 秒間押し続けます。「ピッ」という確認音が鳴り、操作音が再開されます。

いろいろな再生のしかた

全曲再生

再生を始めた曲から最後の曲までを、通して再生します。

❶ **CD が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、CD を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に “ALL（オール）” を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **選曲 [⏮][⏭] ボタンを押して、最初に再生したい曲を選びます。**

❹ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

1 曲リピート

CD 中の選曲した 1 曲だけを繰り返して再生します。

❶ **CD が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、CD を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に “rP1（リピートワン）” を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **選曲 [⏮][⏭] ボタンを押して、再生したい曲を選びます。**

❹ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

NOTE: 1 曲リピート、または全曲リピート再生が設定されている場合は、[リピート] ボタンのランプが点灯します。

全曲リピート

CD の全曲を繰り返して再生します。

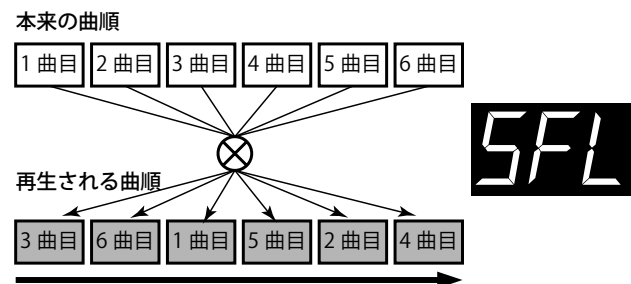
❶ **CD が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、CD を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に “rPA（リピートオール）” を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

シャッフル

CD に入っている全曲を、順不同に再生します。全曲の再生が終わると、CD を停止します。

❶ **CD が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、CD を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に “SFL（シャッフル）” を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

通常再生に戻す

CD の 1 曲を再生し、終わると停止します。

❶ **CD が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、CD を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを何回か押し、曲番号窓に “SGL（シングル）” を表示させます。ボタンのランプは消灯します。**

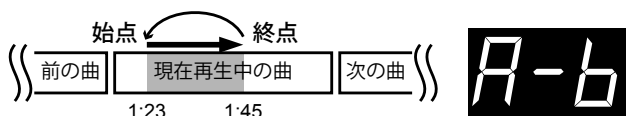
A-B リピート

曲中のある区間を繰り返して再生します。

❶ **CD を再生します。**

❷ **繰り返す始点で [リピート] ボタンを押します。**

曲番号窓に "A-b" が表示されます。

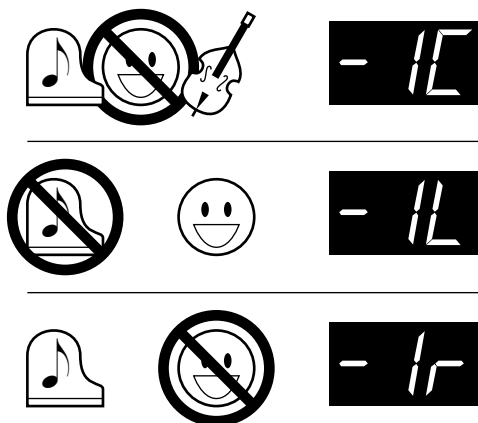
❸ **繰り返す終点で [リピート] ボタンを押します。**

A-B リピート再生が始まります。曲番号窓は曲番号と "A-b" が交互に表示されます。

❹ **通常再生に戻すには、[リピート] ボタンをもう一度押します。**

曲番号窓は、曲番号のみの表示に戻ります。

選曲操作や停止を行っても、A-B リピートは解除されます。

マイナスワン

曲中のあるチャンネルを消音します。音声多重 CD では、メロディや伴奏を切り替えることができます。

❶ **[マイナスワン] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に消音したいチャンネルを表示させます。**

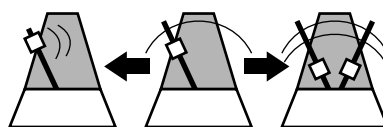
- **-1C（センター）** 中央の音を消音し、その他の音が再生されます。
- **-1L（レフト）** 左チャンネルの音を消音し、右チャンネルの音のみが全スピーカーから再生されます。
- **-1r（ライト）** 右チャンネルの音を消音し、左チャンネルの音のみが全スピーカーから再生されます。

操作後 3 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❷ **通常再生に戻すには、[マイナスワン] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に "oFF（オフ）" を表示させます。ボタンのランプは消灯します。**

NOTE: 再生する CD によっては、希望通りの効果が得られないことがあります。

テンポ

テンポを調節します。調節は元のテンポに対して 75% から 125% まで可能です。

❶ **テンポ [-][+] ボタン（リモコンではテンポ [▼][▲] ボタン）を押して、希望するテンポに調節します。**

曲番号窓には元のテンポに対する割合がパーセントで表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

テンポが 100% 以外の場合、[テンポ] ボタンのランプが点灯します。

❷ **通常再生に戻すには、テンポ [-][+] ボタンを押して曲番号窓を「100」に設定します。**

NOTE: テンポ機能によって、再生音質が劣化することがあります。

キー（SO-70CU のみ）

音程を調節します。調節は元の音程に対して -6 半音から +6 半音まで可能です。

❶ **キー [-][+] ボタンを押して、希望する音程に調節します。**

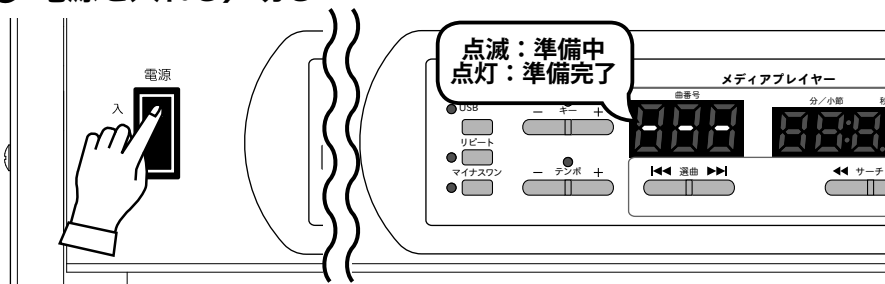
曲番号窓には元の音程に対する割合が半音単位で表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

キーが ±0 以外の場合、[キー] ボタンのランプが点灯します。

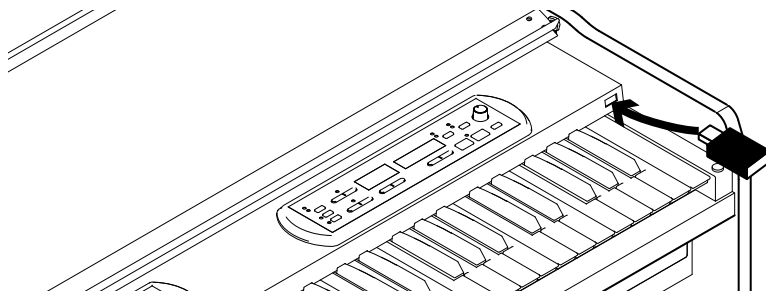
❷ **通常再生に戻すには、キー [-][+] ボタンを押して曲番号窓を「0」に設定します。**

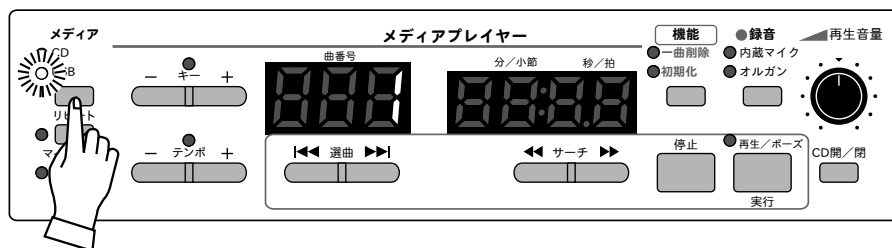
NOTE: キー機能によって、再生音質が劣化することがあります。

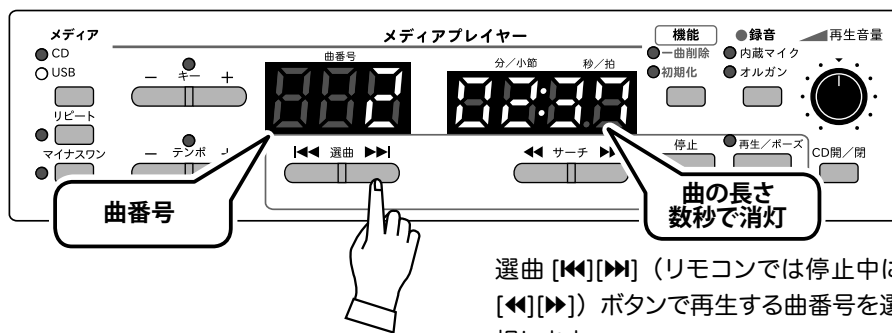
USBを 聴く （SO-70CUのみ）

基本的な使いかた

❶ 電源を入れる／切る

[電源スイッチ]を「入」にします。機器内の準備のため約25秒お待ちください。メディアプレイヤー部の曲番号窓に「---」が点灯表示されたら準備完了です。ご使用後は「切」にしてください。

❷ USBメモリーを接続する

USB端子にUSBメモリーを文字面を上にして接続します。

❸ [メディア]ボタンでUSBを選択する

[メディア]ボタンを押して、「USB」のランプを点灯させます。機器内の準備のため約10秒お待ちください。

❹ 選曲する

選曲[⏮][⏭]（リモコンでは停止中に[⏪][⏩]）ボタンで再生する曲番号を選択します。

NOTE: 使用できるUSB機器

本機のUSB端子には、USBフラッシュメモリー（以下、USBメモリー）及び、USBフロッピーディスクドライブを接続可能です。

動作確認済みUSB機器については、以下のURLをご参照ください。

http://www.suzuki-music.co.jp/support/

NOTE: 大型のUSB機器

大型のUSB機器は、USB端子に直接挿入できません。破損や動作不良の原因になります。それらの接続には、3メートル以下のUSBケーブルをご使用ください。

tips USBメモリーの準備

USBメモリーは、FAT32形式で初期化したものが使用可能です（本機での初期化をお勧めします）。

再生したいファイルはフォルダ内ではなく、USBメモリーのルートに配置してください。

再生できる音声ファイル形式は、次の通りです。

WAV （44.1kHz（キロヘルツ）、16bit（ビット）、ステレオ）他
MP3 （44.1kHz、128kbps（キロビットパーセカンド）、ステレオ）他
WMA （44.1kHz、128kbps、ステレオ）他
M4A （44.1kHz、128kbps、ステレオ）他

詳細は「再生できる音声ファイル」(P.34)をご覧ください。

再生できるMIDI（ミディ）ファイル形式は、次の通りです。
MID（SMFフォーマット0/1、GMシステムレベル1）

tips 曲データの互換性

当社製学校用オルガンで記録されたMIDIファイル（曲データ）は、以下のモデルのものが再生可能ですが、音色等の完全な互換を保証する物ではありません。

SO-900, 910, 910II, 920, 800

tips この表示は？

操作が可能になると、ディスプレイには以下のように表示されます。

no dAtA
USBメモリーに音声ファイルやMIDIファイルが見つかりません。

0（数字）　　（空白）
音声ファイルやMIDIファイルが見つかり、再生準備ができました。

noF
本機では扱えないファイルシステムです。

NOTE: リモコンではメディア選択は行えません。本体の[メディア]ボタンをご使用ください。

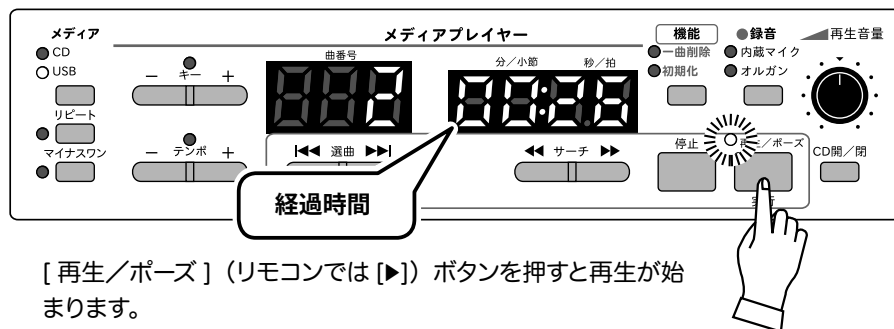
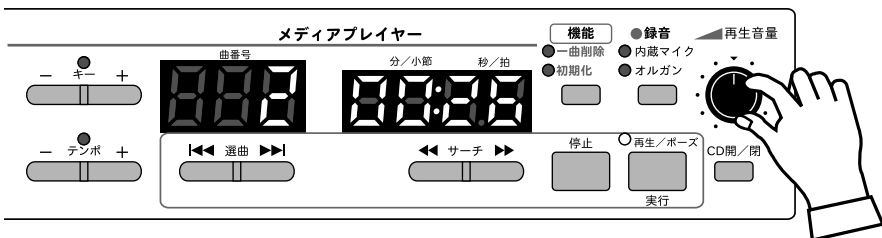
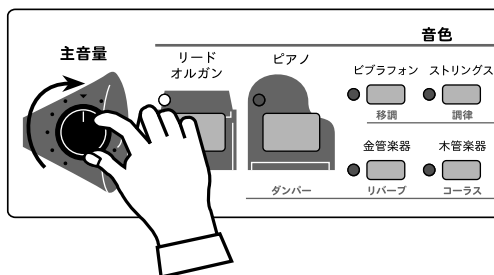
tips 曲番号とファイル名との対応

本機の曲番号は、ファイル名の昇順で自動的に付けられます。従って、任意の曲順で再生したい場合は、ファイル名の先頭に半角で“001”、“002”……と数字を入れておくことをお勧めします。

❺ 再生を始める

[再生／ポーズ]（リモコンでは [▶]）ボタンを押すと再生が始まります。

❻ 音量を調節する

[再生音量] つまみを回して音量を調節します。

MIDI ファイルの音量調節

MIDI ファイルの再生時には、オルガン部の [主音量] つまみを上げておいてください。

これは、MIDI ファイルの再生にオルガン部を使用するためです。

その他の操作

再生を止める

[停止] ボタンを押します。
リモコンでは [⏮] ボタンを押します。

再生中に一時停止する

[再生／ポーズ] ボタンを押します。もう一度押すと再生が再開します。
リモコンでは [■] ボタンを押します。[▶] ボタンを押すと再生が再開します。

曲の頭に戻す

選曲 [⏮] ボタンを再生中（または一時停止中）に押します。

前の曲へ戻す

選曲 [⏮] ボタンを停止中（または経過時間表示が "0:00" のとき ／ 1 小節め）に押します。
リモコンでは [⏪] ボタンを停止中に押します。

次の曲へ進む

選曲 [⏭] ボタンを押します。
リモコンでは [⏩] ボタンを停止中に押します。

曲中の聴きたい部分を探す

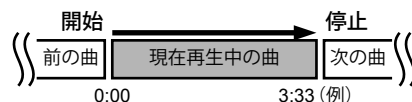
サーチ [⏪][⏩] ボタンを聴きたい部分が見つかるまで押したままにします。

リモコンでは再生中または一時停止中に [⏪][⏩] ボタンを聴きたい部分が見つかるまで押したままにします。

tips 再生中の表示

音声ファイルの再生中、ディスプレイには現在再生中の曲番号と経過時間（MIDI ファイルの場合は小節と拍）が表示されます。

tips 再生中の曲が終わると

再生中の曲が終わると、自動的に停止し、その曲の先頭に戻ります。

USB メモリー全体を連続再生する場合は、再生モードを "ALL（オール）" に設定します（P.24）。

tips リモコンでの音量調節

リモコンの音量 [▼][▲] ボタンでも音量を調節することができます。

[再生音量] つまみ（MIDI ファイルの場合は [リズム音量] ボタン）で設定された音量を基準として 0% から 100% の間で調節しますので、元の音量より大きくすることはできません。

曲番号窓には元の音量に対する割合がパーセントで表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

tips リモコン操作音

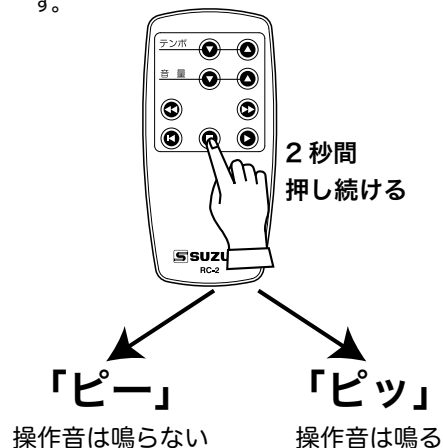
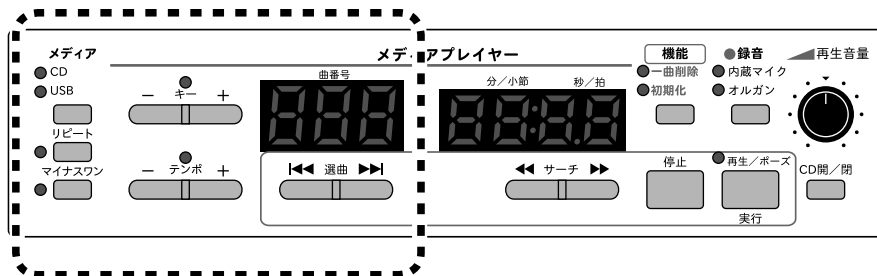
リモコンを操作すると本体より「ピッ」という操作音が鳴り、操作を受け付けたことをお知らせします。

操作音が不要な場合は、停止中または一時停止中にリモコンの [■] ボタンを 2 秒間押し続けます。「ピー」という確認音が鳴り、その後操作音は発音しません。

操作音を再び鳴らすためには、停止中または一時停止中にリモコンの [■] ボタンを 2 秒間押し続けます。「ピッ」という確認音が鳴り、操作音が再開されます。

「ピー」
操作音は鳴らない

「ピッ」
操作音は鳴る

USB を聴く

いろいろな再生のしかた

全曲再生

再生を始めた曲から最後の曲までを、通して再生します。

❶ **再生が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、再生を停止します。**

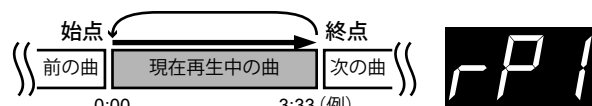
❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に "ALL"（オール）を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **選曲 [⏮][⏭] ボタンを押して、最初に再生したい曲を選びます。**

❹ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

1 曲リピート

USB メモリー中の選曲した 1 曲だけを繰り返して再生します。

❶ **再生が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、再生を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に "rP1"（リピートワン）を表示させます。**

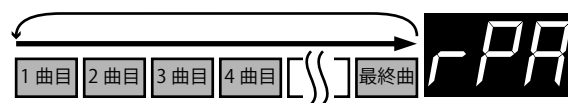
操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **選曲 [⏮][⏭] ボタンを押して、再生したい曲を選びます。**

❹ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

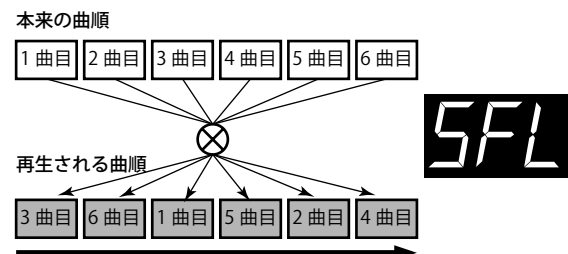
NOTE: 1曲リピート、または全曲リピート再生が設定されている場合は、[リピート] ボタンのランプが点灯します。

全曲リピート

USB メモリーの全曲を繰り返して再生します。

❶ **再生が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、再生を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に "rPA"（リピートオール）を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

シャッフル

USB メモリーに入っている全曲を、順不同に再生します。全曲の再生が終わると、再生を停止します。

❶ **再生が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、再生を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に "SFL"（シャッフル）を表示させます。**

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❸ **[再生／ポーズ] ボタンを押して、再生を始めます。**

通常再生に戻す

USB メモリーの 1 曲を再生し、終わると停止します。

❶ **再生が停止していない場合は [停止] ボタンを押して、再生を停止します。**

❷ **[リピート] ボタンを何回か押し、曲番号窓に "SGL"（シングル）を表示させます。ボタンのランプは消灯します。**

A-B リピート

曲中のある区間を繰り返して再生します。

❶ **曲番号を選んで再生します。**

❷ **繰り返す始点で [リピート] ボタンを押します。**

曲番号窓に “A-b” が表示されます。

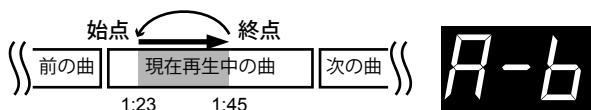
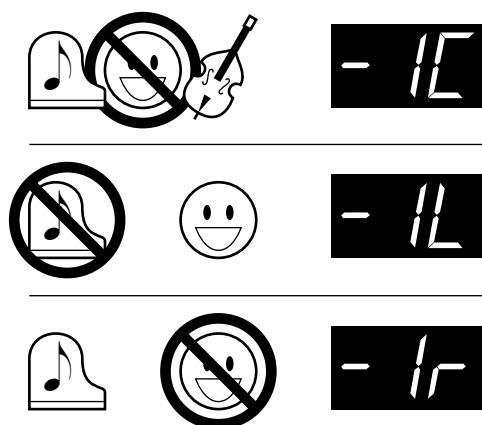
❸ **繰り返す終点で [リピート] ボタンを押します。**

A-B リピート再生が始まります。曲番号窓は曲番号と “A-b” が交互に表示されます。

❹ **通常再生に戻すには、[リピート] ボタンをもう一度押します。**

曲番号窓は、曲番号のみの表示に戻ります。

選曲操作や停止を行っても、A-B リピートは解除されます。

マイナスワン

曲中のあるチャンネルを消音します。

音声ファイルの場合：

❶ **[マイナスワン] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に消音したいチャンネルを表示させます。**

-1C（センター）　中央の音を消音し、その他の音が再生されます。

-1L（レフト）　左チャンネルの音を消音し、右チャンネルの音のみが全スピーカーから再生されます。

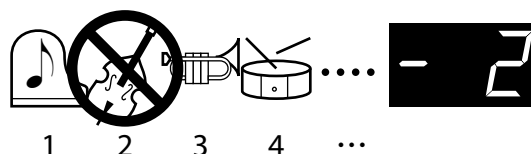
-1r（ライト）　右チャンネルの音を消音し、左チャンネルの音のみが全スピーカーから再生されます。

チャンネル選択は選曲 [⏮][⏭] ボタンでも行えます。

操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります。

❷ **通常再生に戻すには、[マイナスワン] ボタンを繰り返し押して、曲番号窓に “oFF（オフ）” を表示させます。ボタンのランプは消灯します。**

NOTE: 再生する音声ファイルによっては、希望通りの効果が得られないことがあります。

MIDI（ミディ） ファイルの場合：

❶ **[マイナスワン] ボタンを押します。**

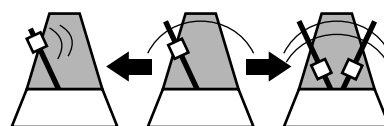
曲番号窓に消音される MIDI チャンネル番号が表示されます（操作後 5 秒経つと、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

❷ **選曲 [⏮][⏭] ボタンを使って、消音したい MIDI チャンネルを選択します。**

消音できるのはひとつの MIDI チャンネルのみです。

❸ **通常再生に戻すには、[マイナスワン] ボタンを繰り返し押して、ボタンのランプを消灯させます。**

テンポ

テンポを調節します。調節は元のテンポに対して 75% から 125% まで可能です。

❶ **テンポ [-][+] ボタン（リモコンではテンポ [▼][▲] ボタン）を押して、希望するテンポに調節します。**

曲番号窓には元のテンポに対する割合がパーセントで表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

テンポが 100% 以外の場合、[テンポ] ボタンのランプが点灯します。

❷ **通常再生に戻すには、テンポ [-][+] ボタンを押して曲番号窓を「100」に設定します。**

NOTE: テンポ機能によって、再生音質が劣化することがあります。

キー（SO-70CU のみ）

音程を調節します。調節は元の音程に対して -6 半音から +6 半音まで可能です。

❶ **キー [-][+] ボタンを押して、希望する音程に調節します。**

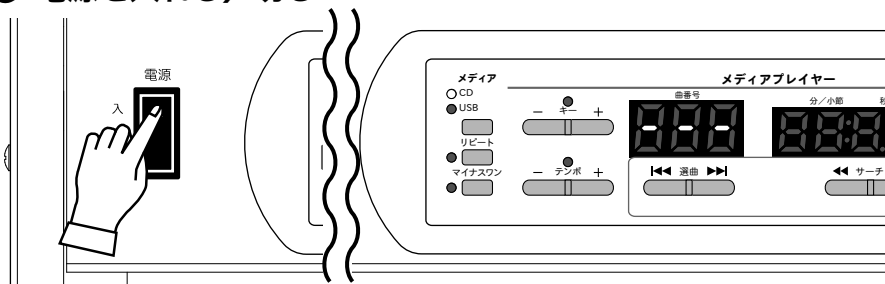
曲番号窓には元の音程に対する割合が半音単位で表示されます（操作後 1 秒経過すると、曲番号窓は曲番号の表示に戻ります）。

キーが ±0 以外の場合、[キー] ボタンのランプが点灯します。

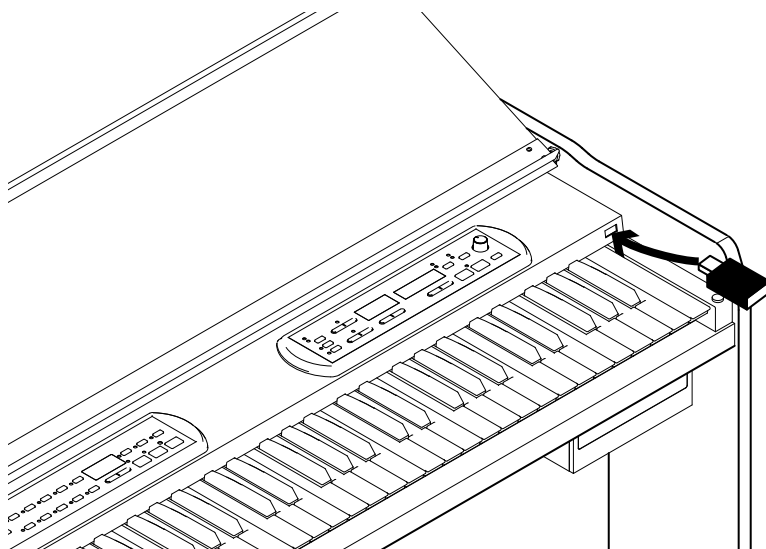
❷ **通常再生に戻すには、キー [-][+] ボタンを押して曲番号窓を「0」に設定します。**

NOTE: キー機能によって、再生音質が劣化することがあります。

録音前の準備

❶ 電源を入れる／切る

[電源スイッチ] を「入」にします。数秒でメディアプレイヤー部の曲番号窓に「---」が表示されます。ご使用後は「切」にしてください。

❷ USB メモリーを接続する

USB 端子に USB メモリーを文字面を上にして接続します。

tips USB メモリーの準備

USB フラッシュメモリー（以下、USB メモリー）は、FAT32 形式で初期化したものが使用可能です（本機での初期化をお勧めします）。

tips 録音される形式

USB メモリーへの録音は、WAV（44.1kHz、16bit、ステレオ）形式で行われます。1 分間の録音あたり、約 10MB の容量を使用します。

tips どの音が録音される？

本体背面に内蔵されたマイクロホンの音、またはオルガン部の音のどちらかを選択して録音します。その他の音は録音されません。

tips 誤消去防止

USB メモリーには、誤ってデータを消してしまわないよう、ライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合には、この機能を使用して不慮の事故を防ぐことをお勧めします。

tips この表示は？

操作が可能になると、ディスプレイには以下のように表示されます。

ノーデータ
nod

USB メモリーに音声ファイルや MIDI ファイルが見つかりません。

1（数字）00:00（数字）

音声ファイルや MIDI ファイルが見つかり、再生準備ができました。

ノーフォーマット
noF

本機では扱えないファイルシステムです。本機での初期化により、扱うことが出来るようになります。

NOTE: 使用できる USB 機器

本機の録音には、USB フラッシュメモリー（以下、USB メモリー）のみ使用可能です。

動作確認済み USB 機器については、以下の URL をご参照ください。

http://www.suzuki-music.co.jp/support/

NOTE: 大型の USB 機器

大型の USB 機器は、USB 端子に直接挿入できません。破損や動作不良の原因になります。それらの接続には、3 メートル以下の USB ケーブルをご使用ください。

USB メモリーを初期化する

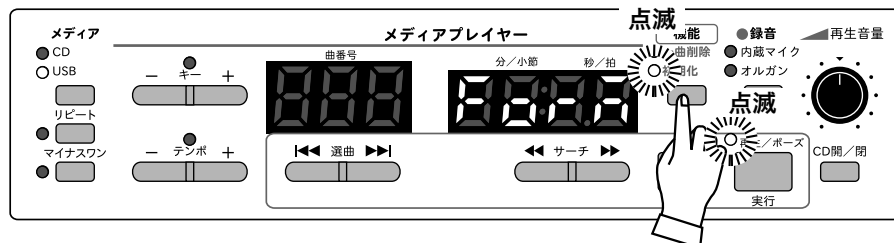
曲番号窓に "noF" が表示される場合や、全曲を消去したい場合は、以下の手順に従って USB メモリーを初期化してください。

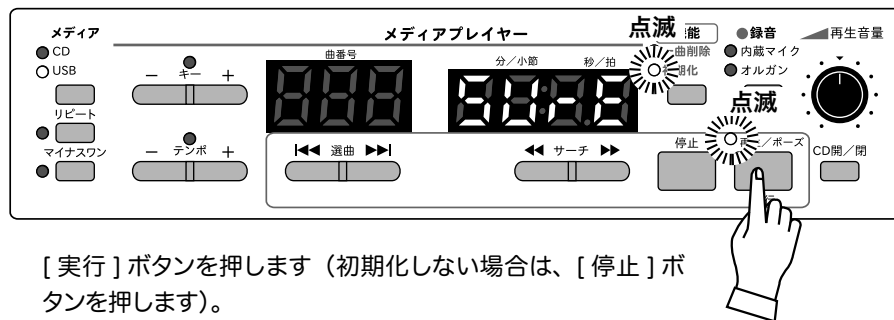
※ この操作を行うと、USB メモリー内の全ての情報が消去されます。

tips 初期化はいつ必要？

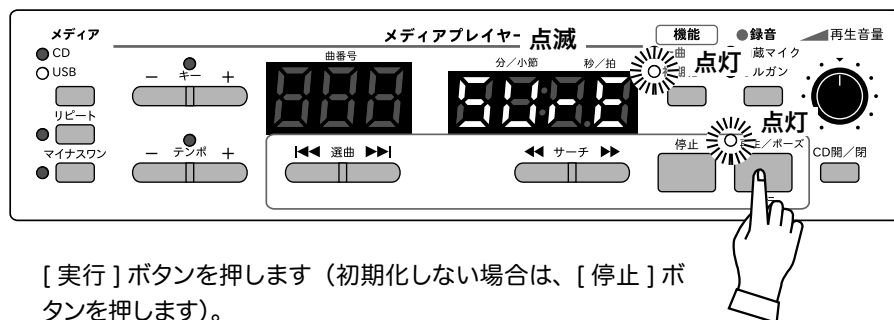
一旦本機で初期化した USB メモリーを使い続ける場合、次回以降の初期化操作は不要です。

全曲を消去したい場合に限り、初期化操作を行ってください。

❶ 「初期化」を選択する

[機能] ボタンを繰り返し押して、「初期化」ランプを点滅させます。

経過時間窓に "Forn"（フォーマット）が表示されます。

❷ [実行] ボタンを押す

[実行] ボタンを押します（初期化しない場合は、[停止] ボタンを押します）。

経過時間窓に "SUrE"（シュア）が表示されます。

❸ [実行] ボタンを押す

[実行] ボタンを押します（初期化しない場合は、[停止] ボタンを押します）。

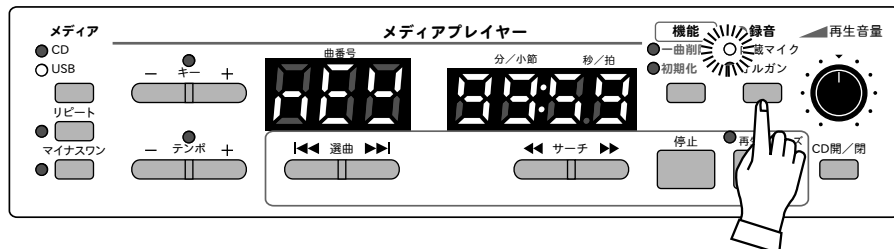
初期化が始まり、経過時間窓に "SUrE" が点滅表示されます。

※ 初期化中は電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。データが破損する恐れがあります。

初期化が終わると、"no dAtA"（ノー データ）が表示されます。これで USB メモリーが使用可能になりました。

録音を始める

録音の準備（P. 26）ができたら、さっそく録音を始めましょう。

❶ 録音方法を選ぶ

[録音] ボタンを繰り返し押して、内蔵マイクで録音をするか、オルガン部の音を直接録音するかを選びます。

内蔵マイク

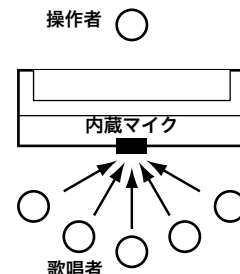
周囲の児童生徒の演奏や歌唱を、本機の演奏（CD や USB メモリーの再生を含む）と一緒に録音します。

オルガン

本機の演奏だけをきれいな音質で録音します。

tips 録音方法の補足

「内蔵マイク」を選んだ場合、その周囲で演奏した音や歌った声がそのまま録音されます。オルガン部の演奏も内蔵マイクを通じて録音されます。

操作者がバランス良く聞こえるよう、本体の音量と歌唱者の立ち位置を調整してください。

「オルガン」を選んだ場合、オルガン部の演奏が直接録音されます。この場合、周囲の音は録音されません。録音レベルはオルガン部の [主音量] つまみに関わらず固定です。

❷ 録音の開始／停止

[再生／ポーズ] ボタンを押すと、録音が始まります。

録音を終えるには、[停止] または [再生／ポーズ] を押します。

録音した音声ファイルには自動的に新しい曲番号が付けられ、USB メモリーに保存されます。

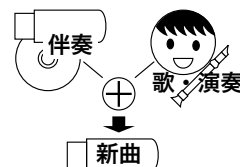
※ **録音中は電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。データが破損する恐れがあります。**

tips この表示は？

nEW 99:59（数字）

新曲を、あと 99 分 59 秒録音可能です。

tips

CD や USB メモリーを再生しながら録音する

手順❷で [再生／ポーズ] を押す前に、再生したいメディアを [メディア] ボタンで、曲番号を [曲番号] ボタンで選んでください。曲番号窓の表示は、nEW から再生する曲番号に変わります。

[再生／ポーズ] を押すと、その音声を再生しながら録音が始まります（再生は一曲停止に固定され、リピートやサーチといった機能は解除されます）。

❸ 録音した音声を聴く

録音の停止直後は、メディアは「USB」が、曲番号は先程録音した曲番号が自動的に選択されます。

[再生／ポーズ] ボタンを押すと、録音された音が再生されます。

tips 残容量が無くなると

録音中に USB メモリーの残容量が無くなった場合、その時点で録音が停止します。

tips 録音された音声ファイルは

本機で録音された音声ファイルには、“SUZUKIxxx.wav” のファイル名が付けられ、USB メモリーのルート（最上階層）に保存されます。

一曲を削除する

演奏を間違えた場合や、残容量が足りない場合は、以下の手順に従って USB メモリー内の不要なファイルを削除します。

※ **一旦削除したファイルは復活できません。**

❶ 曲番号を選ぶ

選曲 [⏮][⏭] ボタンで、削除する曲番号を選びます。

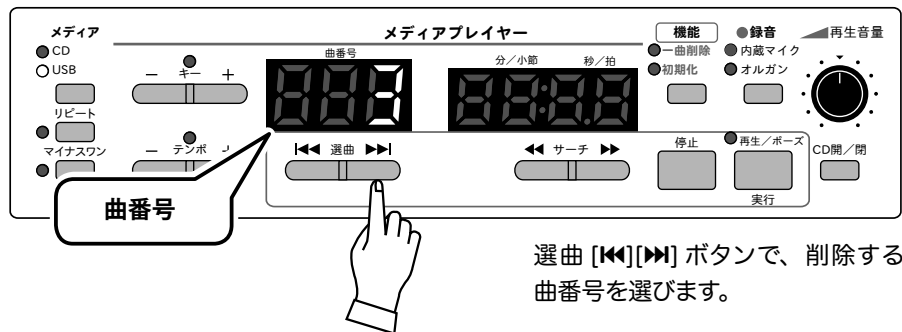
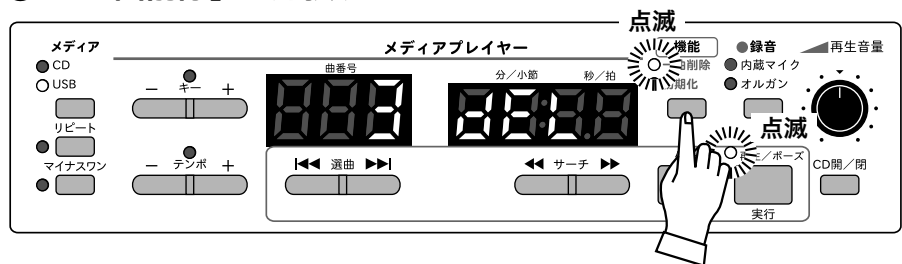
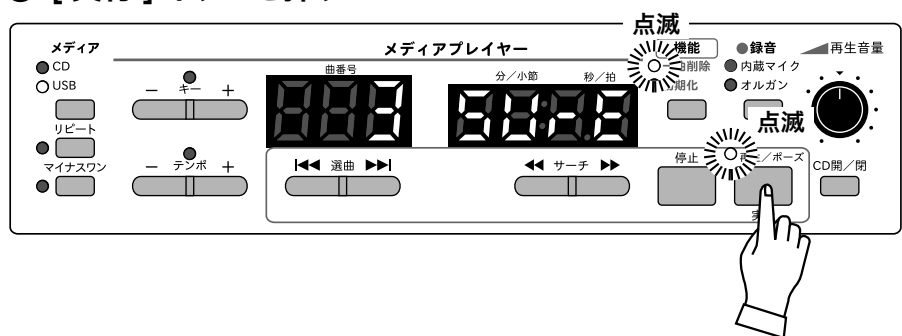
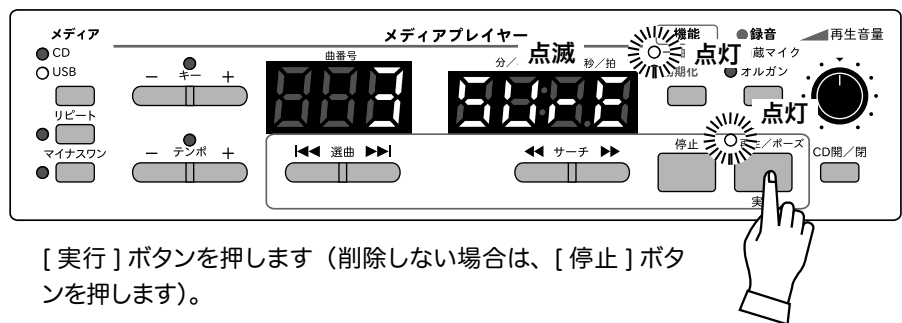
❷ 「一曲削除」を選択する

[機能] ボタンを繰り返し押して、「一曲削除」ランプを点滅させます。

経過時間窓に “dEL ” が表示されます。

❸ [実行] ボタンを押す

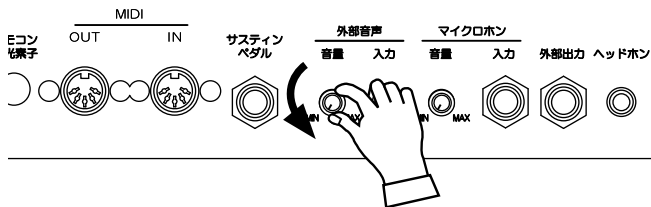
[実行] ボタンを押します（削除しない場合は、[停止] ボタンを押します）。

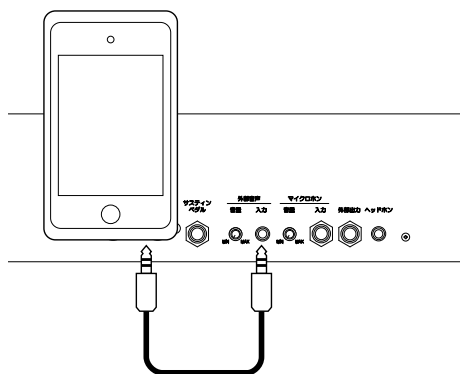
経過時間窓に “SUrE” が表示されます。

❹ [実行] ボタンを押す

[実行] ボタンを押します（削除しない場合は、[停止] ボタンを押します）。

削除が始まり、経過時間窓に “SUrE” が点滅表示されます。

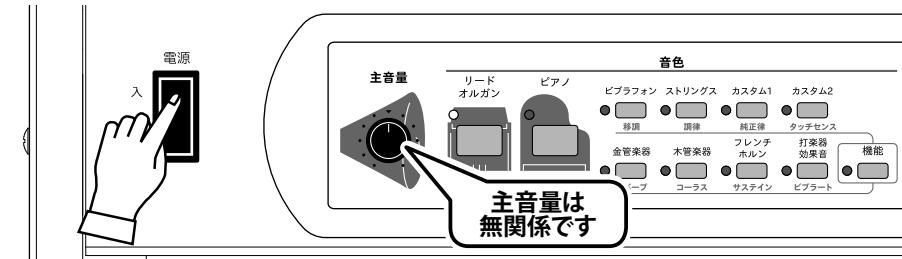
※ **削除中は電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。データが破損する恐れがあります。**

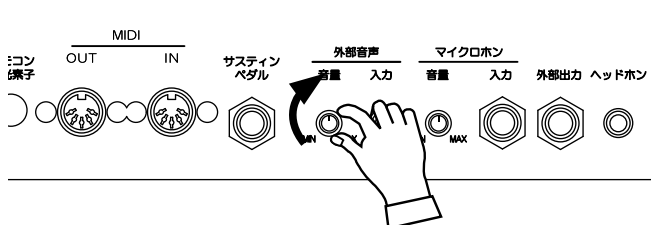
削除が終わると、直近の曲番号（存在しない場合は “no dAtA”）が選択されます。

オーディオプレイヤーを接続する

携帯オーディオプレイヤーに入っている音楽を教室に拡声したい場合、本機をアンプ内蔵スピーカーとして活用できます。

❶ [外部音声音量] つまみを最小にする

不要な雑音を防ぐため、[外部音声音量] つまみを最小 “MIN” 位置にします。

❷ オーディオプレイヤーを接続する

オーディオプレイヤーの出力ジャックと本機の [外部音声入力] ジャックとを、ステレオミニプラグの接続コード（別売）を使って接続します。

❸ [電源] スイッチを入れる

電源スイッチを入れます。動作を開始するまで数秒お待ちください。

❹ [外部音声音量] つまみを上げる

オーディオプレイヤーを再生しながら、本機の [外部音声音量] つまみをゆっくりと時計回りに回し、適当な音量に設定します。

ご使用後は雑音を防ぐため、接続を外す前に [外部音声音量] つまみを最小 “MIN” 位置にしてください。

tips 接続できるオーディオプレイヤー

オーディオプレイヤーに “LINE OUT” や “PHONES” といったステレオミニジャックがある場合は、その端子と本機とを接続できます。

携帯電話機など、専用のイヤホンジャックを使う機器の場合は、別途変換アダプターが必要です。詳しくはお買いあげの販売店へお問い合わせください。

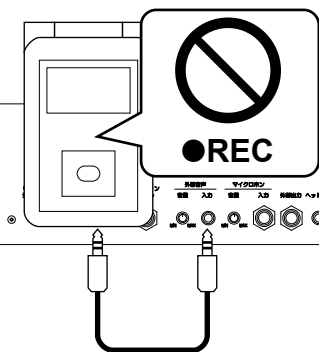
tips 大音量にご注意

[外部音声音量] つまみが上がった状態で接続を行うと、不快な雑音が出ることがあります。

オーディオプレイヤーによっては、再生や選曲操作を行った際に、大きな操作音が鳴る場合があります。「ビープ」や「クリック」といった設定項目がある場合は、それらをオフにしておくことをお勧めします。

⚠ 録音状態にしないで

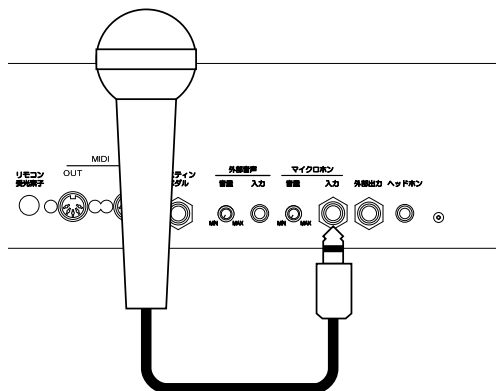
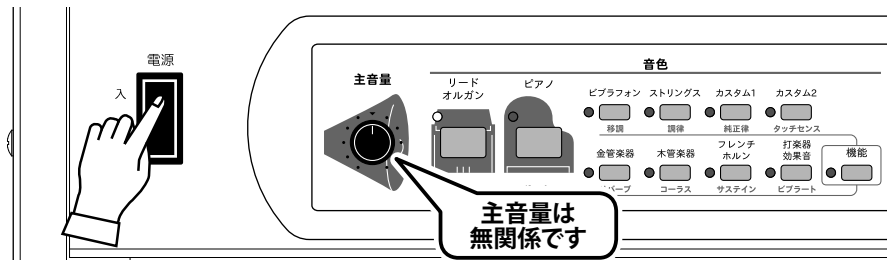
[外部音声入力] ジャックに IC レコーダーやテープレコーダー等の録音機を接続し、録音状態にしないでください。

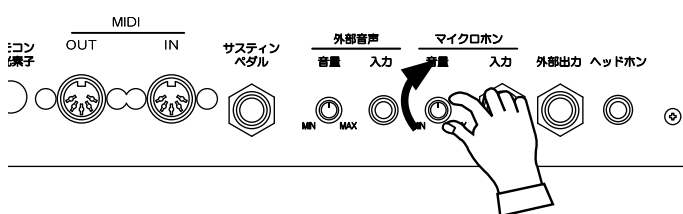
録音機のマイクと本機のスピーカーとの間でハウリングが発生し、難聴や故障の原因になる場合があります。

マイクロホンを接続する

本機の演奏と共に歌ったり、広い教室で講演をしたりする場合に、本機にマイクロホンを接続して拡声できます。

❶ [マイクロホン音量] つまみを最小にする

不要な雑音を防ぐため、[マイクロホン音量] つまみを最小 “MIN（ミニマム）” 位置にします。

❷ マイクロホンを接続する

マイクロホン（別売）のプラグを本機の [マイクロホン入力] ジャックへ接続します。

❸ [電源] スイッチを入れる

電源スイッチを入れます。動作を開始するまで数秒お待ちください。

❹ [マイクロホン音量] つまみを上げる

マイクロホンに向かって声を出しながら、本機の [マイクロホン音量] つまみをゆっくりと時計回りに回し、適当な音量に設定します。

ご使用後は雑音を防ぐため、接続を外す前に [マイクロホン音量] つまみを最小 “MIN” 位置にしてください。

tips 接続できるマイクロホン

ダイナミック型やエレクトレットコンデンサー型で、モノラル標準プラグを装備したマイクロホンを接続できます。

パソコンや IC レコーダーに使われる「プラグインパワー」方式のマイクロホンはご使用できません。

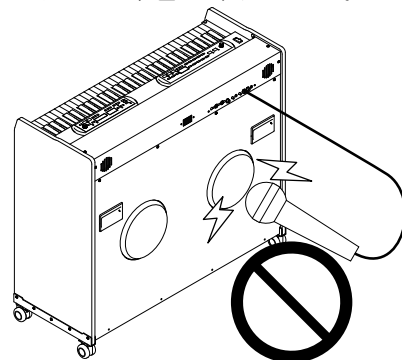
tips マイクロホン以外にも

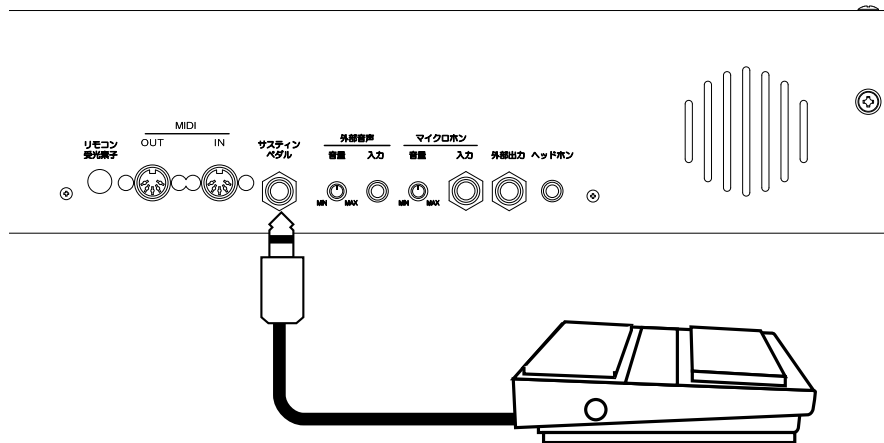
[マイクロホン入力] ジャックはギター～ラインレベルの機器にも対応しており、鍵盤ハーモニカ「Pro-44」やキーボード､エレキギター等も接続可能です。

この場合、[マイクロホン音量] つまみを上げすぎないようご注意ください。

tips ハウリングにご注意

マイクロホンを使うと「ピー」「ホワーン」という音（ハウリング）が発生することがあります。

この場合は、マイクロホンの頭をスピーカーと違う方向に向けてください。それでもハウリングが止まらない場合は、[マイクロホン音量] つまみをハウリングが止まる位置まで下げてください。

サステインペダルを接続する

ピアノ音色での演奏を効果的に行うために、サステインペダル（別売）を接続できます。接続は、電源を切った状態で行ってください。

tips **接続できるサステインペダル**

ダンパーペダル VFP1 ／フットスイッチ FS-9H（別売）のほか、市販のフットスイッチ（アンラッチタイプ）、ダンパーペダルがご使用できます。

極性判定のため、接続時には電源を切り、電源を入れる際にはペダルを踏まない状態で行ってください。

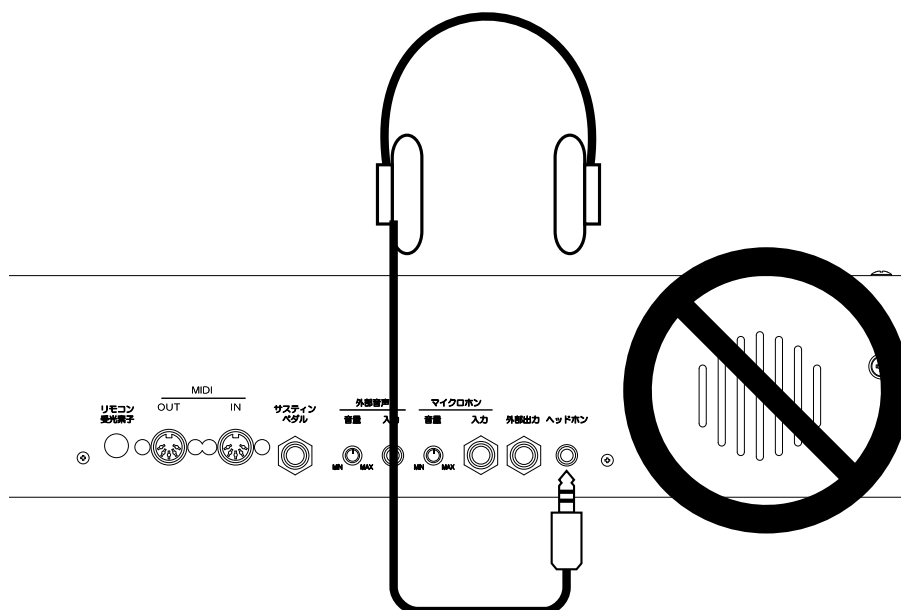
ヘッドホンを接続する

本機の [ヘッドホン] ジャックにステレオヘッドホンを接続すると、静かに個人練習を行うことができます。

[ヘッドホン] ジャックにプラグが挿入されると、本機の内蔵スピーカーの音は消えます。

⚠注意

断線を防ぐため、コードの着脱はかならずプラグ部を持って行ってください。

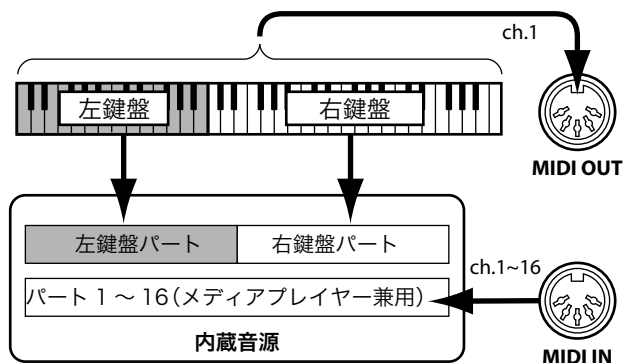
大音量で長時間のご使用は避けてください。難聴になる恐れがあります。

tips **接続できるヘッドホン**

市販のステレオミニプラグ付きのヘッドホンが接続できます。携帯電話用など、プラグ形状が特殊な物は接続できないことがあります。

MIDI（ミディ）機器を接続する

MIDI（Musical Instruments Digital Interface）とは、MIDI 端子を備えた電子楽器やコンピュータとの間で演奏データや命令をやりとりするための統一規格です。

MIDI は AMEI 社団法人電子音楽事業協会の登録商標です。

本機の MIDI 端子でできること

❶ **MIDI OUT（ミディアウト） ジャック**

鍵盤の演奏、エクスプレッションペダルとサステインペダルの情報を送信します。本機の送信チャンネルは「1」に固定されています。

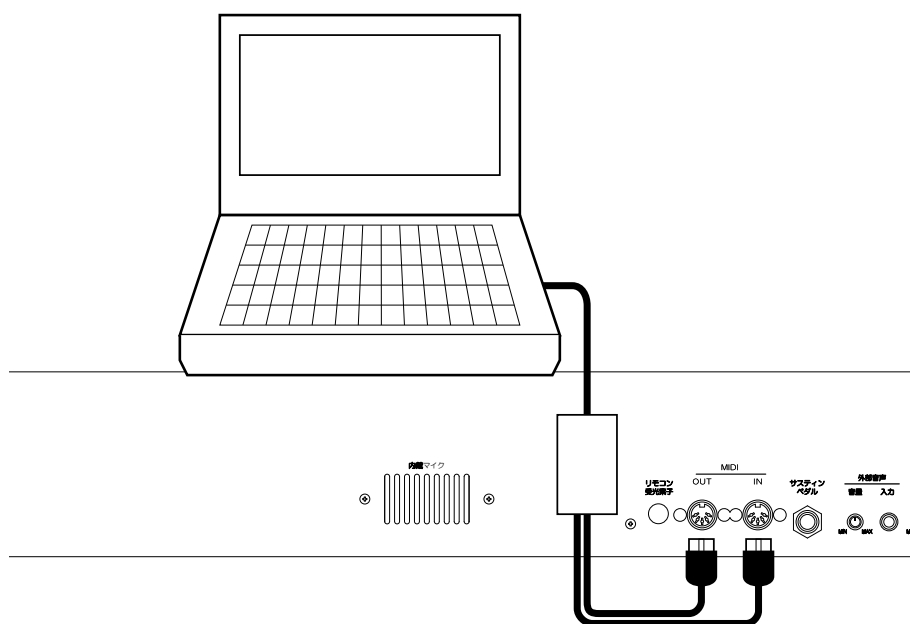
❷ **MIDI IN（ミディイン） ジャック**

本機の鍵盤や操作パネルとは独立した、GM 対応 16 パートの情報を受信します。

NOTE: 本機の MIDI 機能の詳細な説明は、この取扱説明書では割愛させていただきます。必要な方は、弊社ホームページより本機の「MIDI インフォメーション」をご参照ください。
http://www.suzuki-music.co.jp/support/

MIDI の接続例

コンピューターで作曲する

本機の MIDI OUT ジャックとコンピューターの MIDI IN 端子、本機の MIDI IN ジャックとコンピューターの MIDI OUT 端子を、それぞれ接続します。

tips パート別の演奏を記録するには

シーケンスソフトや DAW ソフトを使い、各トラックに別のパート（メロディ、ベースなど）を記録する場合、鍵盤を弾いた際に本機の内部音源が発音すると邪魔になることがあります。

このような場合には、音色ボタン [カスタム 1] または [カスタム 2] を選択し、音色番号を「354」サイレントに設定します。すると、鍵盤を弾いた際に演奏情報は MIDI OUT ジャックへ送信されますが、本機の内部音源は発音しなくなります。

tips 定義ファイルの設定は

近年のシーケンスソフトや DAW ソフトには、演奏データの入力や編集を便利にするための「定義ファイル」を持つ物が多くなっています。本機には独自の定義ファイルはありませんが、「General MIDI Level 1」のご使用をお勧めします。

エラー表示と対処

表示	解説	対処
ノー・フォーマット noF	初期化されていないか、本機が認識できない形式で初期化されたメディアです。	本機で初期化を行います。
プロテクト Prt	ライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	❶ メディアがライトプロテクト（書き込み禁止）されている。→書き込みや削除をしても良いメディアであるかどうか確認し、良ければメディアのライトプロテクトを解除します。方法は各メディアの取扱説明書をご参照ください。 ❷ ファイルが読み取り専用に設定されている。→削除をしても良いファイルであるかどうか確認し、良ければコンピュータ等でファイルの属性を変更します。方法は各 OS の取扱説明書をご参照ください。
フル・キャパシティ FUL CAP	書き込める容量をオーバーしました。	他のメディアを用意するか、不要なファイルを削除してメディアの容量を確保します。
フル・ナンバー FUL nUn	作成できるファイル数をオーバーしました。	他のメディアを用意するか、不要なファイルを削除してメディアの容量を確保します。
ノー・データ no dAtA	ファイルが記録されていません。初期化直後のメディアを使用すると表示されます。	そのままご使用できます。
エラー Err	その他のエラーです。	他のメディアでは再生／録音ができるかどうかを確認し、どのメディアも使用できない場合は、弊社営業所へご相談ください。

再生できる音声ファイル

WAV ファイル

- “.wav”、“.WAV” という拡張子がついた WAV ファイルのみ再生することができます。
- サンプリング周波数 32 / 44.1 / 48 kHz（キロヘルツ）、16bit（ビット）のモノまたはステレオで記録されたファイルに対応しています。

MP3 ファイル

- “.mp3”、“.MP3” という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- MPEG1（エムペグ）オーディオレイヤー 3（8 ～ 320 ｋｂｐｓ（キロビットパーセカンド））の、サンプリング周波数 32 / 44.1 / 48kHz、モノまたはステレオで記録されたファイルに対応しています。
- 8 ～ 320kbps の可変ビットレート（VBR: バリアブル・ビット・レート）に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMA ファイル

- WMA は「Windows Media Audio（ウインドウズ メディア オーディオ）」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- “.wma”、“.WMA” という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 64kbps から 160kbps（サンプリング周波数 32 / 44.1 / 48kHz）の可変ビットレート（VBR: バリアブル・ビット・レート）に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護された WMA ファイルは再生できません。
- WMA Voice（ボイス）には対応していません。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

AAC ファイル

- “.m4a”、“.M4A” という拡張子がついた AAC ファイルのみ再生することができます。
- MPEG2 AAC-LC または MPEG4 AAC-LC で、16kbps から 192kbps（サンプリング周波数 32 / 44.1 / 48kHz）のビットレートに対応しています。

症状とその対処

症状	原因	対処
音が出ない。	❶ エクスプレッションペダルが戻っている。 ❷ ヘッドホンが使われている。	❶ エクスプレッションペダルをつま先側に踏み込みます。 ❷ ヘッドホンを外します。
鍵盤の特定のキーが鳴らない（押さえ方によっては鳴りづらい）。	鍵盤の接点が劣化している。	弊社営業所へご連絡ください。
音が途中で消える。	❶ 最大同時発音数を超えて発音させている。 ❷ サステイン機能を使用している。	❶ 本機の最大同時発音数は 48 音です。 ❷ ベース音色では音の濁りを防ぐため、新しい音の発音時に前のサステイン音は消えるようになっています。
メディアプレイヤーが鳴らない。	❶ [再生音量] つまみが最小になっている。 ❷ リモコンで音量が下げられている。 ❸ MIDI ファイルを再生し、[主音量] つまみが最小になっている。	❶ [再生音量] つまみを回して、音量を調節します。 ❷ リモコンの音量ボタンで音量を上げます。リモコンが手元に無い場合は、本機の電源を入れ直します。 ❸ MIDI ファイルの再生はオルガン部の機能を利用して行うため、[主音量] つまみが上がっている必要があります。
外部マイクロホンや、外部入力の音が録音できない。	録音できるのは本機のオルガン部、および内蔵マイクでの音に限られています。	
CD が再生できない。	❶ CD が裏返し。 ❷ CD が汚れている。 ❸ レンズに露（水滴）が付いている。 ❹ CD-R/CD-RW に何も記録されていない。 ❺ CD-R/CD-RW にファイナライズ処理がされていない。 ❻ CD-R/CD-RW の記録溝が浅い。 ❼ 著作権保護技術付き音楽ディスクは、正常に再生できない場合があります。	❶ 文字のある面を上にして挿入します。 ❷ 記録面をクリーニングします。 ❸ CD を取り出して、トレーを開けた状態で 1 時間程度置きます。 ❹ 記録済みの CD に交換します。 ❺ コンピュータ等でファイナライズ処理を行います。 ❻ CD-R/CD-RW に記録する際に、できるだけ低速で書き込みます。
CD の音が飛ぶ。	❶ CD が汚れている。 ❷ CD に傷がある。 ❸ 振動が多い。 ❹ CD-R/CD-RW の記録溝が浅い。 ❺ 著作権保護技術付き音楽ディスクは、正常に再生できない場合があります。	❶ 記録面をクリーニングします。 ❷ CD を交換します。 ❸ 振動のない場所に置く。体操やダンスなど振動のある場所での再生は、USB メモリーのご使用をお勧めします。 ❹ CD-R/CD-RW に記録する際に、できるだけ低速で書き込みます。

カスタム音色番号対応表

番号	音色名	グループ
1	グランド　ピアノ　ステレオ	ピアノ
2	ブライト　グランド　ピアノ　ワイド	
3	アコースティック　グランド　ピアノ	
4	ブライトピアノ	
5	ダークピアノ	
6	ホンキートンク　ピアノ	
7	エレクトリック　グランド　ピアノ	
8	エレクトリック　グランド　ピアノ　ワイド	
9	オクターブ　ピアノ　1	
10	オクターブ　ピアノ　2	
11	ハープシコード	
12	カップルド　ハープシコード	
13	ハープシコード　ワイド	
14	エレクトリック　ピアノ　1	エレクトリック・ピアノ
15	ディチューンド　エレクトリック　ピアノ　1	
16	エレクトリック　ピアノ　1　ベロシティ	
17	トレモロ　エレクトリック　ピアノ	
18	60's エレクトリック　ピアノ	
19	エレクトリック　ピアノ　2	
20	ディチューンド　エレクトリック　ピアノ　2	
21	エレクトリック　ピアノ　2　ベロシティ	
22	クラビ	
23	ビブラフォン　1	クロマチック・パーカッション
24	ビブラフォン　2	
25	ビブラフォン　ワイド	
26	トーンチャイム	
27	グロッケン	
28	グロッケン　X-66	
29	チェレスタ	
30	オルガンハープ	
31	ミュージック　ボックス 1	
32	ミュージック　ボックス 2	
33	ティンクル　ベル	
34	マリンバ	
35	マリンバ　ワイド	
36	シロフォン	
37	チューブラー　ベル	
38	オルガン　チャイム 1	
39	オルガン　チャイム 2	
40	チャーチ　ベル	
41	カリヨン	
42	ダルシマー	
43	アゴゴ	
44	スチールドラム	

番号	音色名	グループ
45	ナイロン　ストリング　ギター	ギター
46	スチール　ストリング　ギター	
47	12 弦ギター	
48	ナイロン+スチール　ギター	
49	ジャズ　ギター	
50	ミュート　ギター	
51	カントリー　ギター	
52	クリーン　ギター	
53	コーラス　ギター	
54	ハワイアン　ギター	
55	ウクレレ	
56	オーバードライブ　ギター	
57	ディストーション　ギター	
58	フィードバック　ギター	
59	ファンク　ギター	
60	ワウ　ギター	
61	ギター　ハーモニクス	
62	ギター　フィードバック	
63	アコーディオン 1/0/0	アコーディオン
64	アコーディオン 1/1/0	
65	アコーディオン 1/0/1	
66	アコーディオン 1/1/1	
67	アコーディオン 0/1/0	
68	アコーディオン 0/1/1	
69	アコーディオン 0/0/1	
70	アコーディオン 1/2/0	
71	アコーディオン 1/2/1	
72	アコーディオン 0/2/0	
73	アコーディオン 0/2/1	
74	ミュゼット　アコーディオン	
75	チャーチ　オルガン　1	パイプオルガン
76	チャーチ　オルガン　2	
77	チャーチ　オルガン　3	
78	ポジティブ　オルガン　1	
79	ポジティブ　オルガン　2	
80	ハーモニカ	フリーリード
81	クロマチック　ハーモニカ	
82	ブルース　ハーモニカ	
83	メロディオン	
84	リード　オルガン	
85	ノバコード　サステイン	アナログ・オルガン
86	ノバコード　ディケイ	
87	シアター　オルガン　1	
88	シアター　オルガン　2	
89	シアター　オルガン　3	
90	ダイアパーソン	
91	トランペット	
92	バイオリン	
93	チェロ	
94	ホルン	
95	キヌラ	
96	ボックス　ヒューマナ	

番号	音色名	グループ
97	ドローバー　オルガン	ハモンド・オルガン
98	ディチューンド　オルガン　1	
99	60's オルガン	
100	ドローバー+ 60's オルガン	
101	パーカッシブ　オルガン	
102	ディチューンド　オルガン　2	
103	シロフォン　オルガン	
104	ロック　オルガン	
105	ドローバー　88 8000 006	
106	ドローバー　88 8800 000	
107	ドローバー　84 6310 000	
108	ドローバー　88 0080 000	
109	ドローバー　80 8800 000	
110	ドローバー　80 5300 000	
111	ドローバー　80 8000 000	
112	ドローバー　80 5000 000	
113	ドローバー　80 0800 000	
114	ドローバー　80 0080 000	
115	ドローバー　80 0008 000	
116	ドローバー　80 0000 008	
117	ドローバー　80 0000 888	
118	ドローバー　80 8000 888	
119	ドローバー　80 6804 003	
120	ドローバー　80 8080 806	
121	ドローバー　32 3473 244	
122	ドローバー　32 4836 056	
123	ドローバー　88 8000 444	
124	ドローバー　88 8884 444	
125	ドローバー　86 4212 356	
126	ドローバー　86 7856 566	
127	ドローバー　08 8060 000	
128	ドローバー　08 8800 000	
129	ドローバー　02 8000 060	
130	ドローバー　88 8888 888	
131	ドローバー　08 8800 880	
132	ドローバー　88 8000 000	
133	ドローバー　1P	
134	ドローバー　2P	
135	バイオリン	ストリングス（ソロ）
136	スロー　バイオリン	
137	ビオラ	
138	チェロ	
139	ストリングス	ストリングス（アンサンブル）
140	ダル　ストリングス	
141	スロー　ストリングス	
142	ディチューンド　ストリングス	
143	ピチカート　ストリングス	
144	トレモロ　ストリングス	
145	オーケストラ	
146	オーケストラ　ヒット	
147	シンセ　ストリングス　1	
148	シンセ　ストリングス　2	
149	シンセ　ストリングス　3	
150	オーケストラル　ハープ 1	
151	オーケストラル　ハープ 2	
152	アー　クワイヤー	クワイヤー
153	スロー　クワイヤー	
154	シンセ　ボイス	
155	ドゥー　ボイス	
156	トランペット　1	ブラス（ソロ）
157	トランペット　2	
158	スロー　トランペット	
159	トランペット　1 オクターブ	
160	ミュート　トランペット	
161	トロンボーン　1	
162	トロンボーン　2	
163	トロンボーン　3	
164	トロンボーン　1 オクターブ	
165	ブラス　セクション　1	ブラス（アンサンブル）
166	ブラス　セクション　2	
167	ブラス　フォール　ダウン	
168	オクターブ　ブラス	
169	フレンチ　ホルン	
170	フレンチ　ホルン　クローズ	
171	フレンチ　ホルン　オープン	
172	フレンチ　ホルン　オクターブ	
173	フリューゲル　ホルン	
174	シンセ　ブラス　1	
175	シンセ　ブラス　2	
176	シンセ　ブラス　3	
177	シンセ　ブラス　4	
178	アナログ　ブラス　1	
179	アナログ　ブラス　2	
180	ソプラノ　サックス	木管（リード）
181	アルト　サックス fPV	
182	アルト　サックス p	
183	アルト　サックス f オクターブ	
184	テナー　サックス f	
185	オーバー　ブロー　サックス	
186	テナー サックス　ベロシティ	
187	テナー サックス p 1	
188	テナー サックス p 2	
189	テナー サックス セクション	
190	テナー サックス セクション オクターブ	
191	バリトン　サックス	
192	オーボエ	
193	オーボエ オクターブ	
194	イングリッシュ　ホルン	
195	バスーン	
196	クラリネット	
197	スロー　クラリネット	
198	クラリネット オクターブ	

番号	音色名	グループ
199	フルート　1	木管（パイプ）
200	フルート　2	
201	フルート　1 オクターブ	
202	ピッコロ	
203	リコーダー　1	
204	リコーダー　2	
205	パン　フルート	
206	ボトル　ブロー	
207	ホイッスル	
208	オカリナ	
209	サンバ　ホイッスル	
210	シタール　1	エスニック
211	シタール　2	
212	バンジョー	
213	カリンバ	
214	マンドリン	
215	三味線　1	
216	津軽三味線	
217	箏 1	
218	箏 2	
219	大正琴（弁慶）	
220	バグパイプ	
221	シャナイ	
222	フィドル	
223	胡弓	
224	ひちりき	
225	笙	
226	篠笛	
227	能管	
228	尺八	
229	唐琴	
230	三味線　2	
231	琵琶	
232	17 絃	
233	スクエア　リード	シンセ・リード
234	ソー　リード	
235	ドクター　ソロ	
236	カリオペ　リード	
237	チファー　リード	
238	チャラング　リード	
239	ボイス　リード	
240	フィフス　リード	
241	ベース&リード	
242	ベース&リード　ベロシティ	
243	ニューエイジ　パッド	シンセ・パッド
244	ウォーム　パッド	
245	ポリシンセ　パッド	
246	クワイヤー　パッド	
247	ボード　パッド	
248	メタル　パッド	
249	ハロー　パッド	
250	スウィープ　パッド	

番号	音色名	グループ
251	アイス　レイン	シンセ・SFX
252	サウンドトラック	
253	クリスタル	
254	シンセ　マレット	
255	アトモスフィア	
256	ブライトネス	
257	ゴブリン	
258	エコー　ドロップス	
259	エコー　ベル	
260	エコー　パン	
261	サイエンス　フィクション	
262	矩形波	
263	正弦波	
264	鋸歯状波	
265	階段波（8段）	
266	階段波（4段）	
267	ホワイト　ノイズ	
268	ピンク　ノイズ	
269	アコースティック　ベース　1	ベース
270	アコースティック　ベース　2	
271	フィンガー　ベース　1	
272	フィンガー　ベース　2	
273	ピック　ベース	
274	フレットレス　ベース	
275	スラップ　ベース　1	
276	スラップ　ベース　2	
277	サムピング&プル	
278	シンセ　ベース　1	
279	シンセ　ベース　2	
280	シンセ　ベース　3	
281	シンセ　ベース　4	
282	シンセ　ベース 101	
283	ラバー　ベース	
284	コントラバス	
285	チューバ	
286	ティンパニ	
287	ティンパニ　ロール	
288	バス　クラリネット	
289	バス　メロディオン	
290	バスマスター 2000	
291	バスマスター　弦	
292	バスマスター　金管	
293	バスマスター　木管	
294	バス　ザイロホン	
295	リズムセクション A ベース	
296	リズムセクション F ベース	
297	リズムセクション チューバ	

番号	音色名	グループ
298	ウッドブロック	打楽器
299	カスタネット	
300	木魚	
301	メロディック　タム　1	
302	メロディック　タム　2	
303	シンセ　タム	
304	アナログ　タム	
305	リバース　シンバル　1	
306	リバース　シンバル　2	
307	太鼓	
308	締太鼓	
309	ゴング	
310	コンサート　バス　ドラム	
311	ギター　フレット　ノイズ	効果音（楽器）
312	ギター　カッティング　ノイズ	
313	ストリング　スラップ	
314	ベース　スライド	
315	ピック　スクレイプ	
316	ブレス　ノイズ	
317	フルート　キー　クリック	
318	波	効果音（自然）
319	雨	
320	雷	
321	風	
322	川のせせらぎ	
323	泡	
324	鳥のさえずり1	
325	鳥のさえずり2	
326	犬の声	
327	馬の駆け足	
328	ウインド　チャイム	
329	電話1	効果音（生活）
330	電話2	
331	ドアがきしむ音	
332	ドアが閉まる音	
333	スクラッチ	
334	拍手	
335	笑い声	
336	悲鳴	
337	パンチ	
338	鼓動	
339	足音	
340	車のエンジン音	効果音（交通）
341	車の停止音	
342	車の通過音	
343	車のクラッシュ音	
344	サイレン	
345	列車／SL	
346	ヘリコプター	
347	ジェット機	
348	宇宙船	
349	故障音	
350	銃声	効果音（火器）
351	機関銃	
352	レーザー銃	
353	爆発音	

番号	音色名	グループ
354	サイレント	サイレント

学校用オルガン
Model: SO-70CU / SO-50C

MIDI インプリメンテーション・チャート

Date: 1-Dec-2011
Version: 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	初期状態	1	1 - 16	
	設定可能	X	X	
モード	初期状態	3	3	
	メッセージ	X	X	
	代用	*****	X	
ノート ナンバー		36 - 96	0 - 127	
	: 音域	*****	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	O	O	
	ノート・オフ	X	X	
アフター タッチ	キー別	X	X	
	チャンネル別	X	X	
ピッチ・ベンド		O	O	
コントロール チェンジ	0, 32	O	O	バンク・セレクト
	1	X	O	モジュレーション
	6, 38	X	O	データ・エントリー
	7	X	O	ボリューム
	10	X	O	パン
	11	O	O	エクスプレッション
	64	O	O	ダンパー
	71	X	O	レゾナンス
	72	X	O	リリース・レイト
	73	X	O	アタック・レイト
	74	X	O	カット・オフ・フリケンシー
	75	X	O	ディケイ・レイト
	76	X	O	ビブラート・レイト
	77	X	O	ビブラート・デプス
	78	X	O	ビブラート・ディレイ
	80	X	O	ビブラート・スイッチ
	81	X	O	サステイン・スイッチ
	82	X	O	コーラス・スイッチ
	91	X	O	リバーブ・センド・レベル
	93	X	O	コーラス・センド・レベル
	94	X	O	ディレイ・センド・レベル
	98, 99	X	O	NRPN LSB, MSB
	100, 101	X	O	RPN LSB, MSB
プログラム チェンジ		X	O	
	: True #	X	0 - 127	
システム・エクスクルーシブ		X	O	
システム コモン	: ソング・ポジション	X	X	
	: ソング・セレクト	X	X	
	: チューン	X	X	
システム リアルタイム	: クロック	X	X	
	: コマンド	X	X	
その他	: オール・サウンド・オフ	X	O	(120)
	: リセット・オール・コントローラー	X	O	(121)
	: ローカル・コントロール	X	X	
	: オール・ノート・オフ	X	O	
	: アクティブ・センシング	O	O	
	: リセット	X	X	

モード 1: オムニ・オン、ポリ　モード 2: オムニ・オン、モノ
モード 3: オムニ・オフ、ポリ　モード 4: オムニ・オフ、モノ

O: Yes
X: No

ブランクチャート

曲ごとの設定をスムーズに行うには、このブランクチャートをコピーし、つまみ位置や使用するボタン、設定を書き込んでご使用になると便利です。

【記入例】

その他